



# XPS 15 9500


## サービスマニュアル



## メモ、注意、警告

 **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

 **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

 **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

<b>章 1: コンピューター内部の作業</b> .....	<b>5</b>
PC 内部の作業を始める前に.....	5
安全にお使いいただくために.....	5
ESD ( 静電気放出 ) 保護.....	6
ESD フィールド・サービス・キット.....	6
敏感なコンポーネントの輸送.....	7
PC 内部の作業を終えた後に.....	7
<b>章 2: コンポーネントの取り外しと取り付け</b> .....	<b>9</b>
推奨ツール.....	9
ネジのリスト.....	9
XPS-15 9500 の主要なコンポーネント.....	10
ベースカバー.....	12
ベースカバーの取り外し.....	12
ベース カバーの取り付け.....	15
バッテリー.....	16
リチウム イオン バッテリーに関する注意事項.....	16
バッテリーの取り外し.....	17
バッテリーの取り付け.....	18
メモリモジュール.....	18
メモリーの取り外し.....	18
メモリーの取り付け.....	19
ソリッドステートデバイス.....	20
ソリッドステート ドライブ 1 の取り外し.....	20
ソリッドステート ドライブ 1 の取り付け.....	21
ソリッドステート ドライブ 2 の取り外し.....	22
ソリッドステート ドライブ 2 の取り付け.....	23
M.2 2230 ソリッドステート ドライブの取り付け.....	24
ファン.....	25
左側のファンの取り外し.....	25
左側のファンの取り付け.....	26
右側のファンの取り外し.....	27
右側のファンの取り付け.....	28
ヒートシンク.....	29
ヒート シンクの取り外し.....	29
ヒート シンクの取り付け.....	30
スピーカー.....	31
スピーカーの取り外し.....	31
スピーカーの取り付け.....	32
I/O ボード.....	33
I/O ボードの取り外し.....	33
I/O ボードの取り付け.....	34
ディスプレイアセンブリ.....	35
ディスプレイ アセンブリーの取り外し.....	35

ディスプレイアセンブリーの取り付け.....	37
システム ボード.....	40
システム ボードの取り外し.....	40
システム ボードの取り付け.....	42
パームレストとキーボードアセンブリ.....	46
パームレストとキーボードアセンブリーの取り外し.....	46
パームレストとキーボードアセンブリーの取り付け.....	47
<b>章 3: ドライバおよびダウンロード.....</b>	<b>48</b>
<b>章 4: システム セットアップ.....</b>	<b>49</b>
BIOS セットアッププログラムの起動.....	49
ナビゲーションキー.....	49
ブート シーケンス.....	49
ワン タイム ブート メニュー.....	50
システム セットアップのオプション.....	50
CMOS 設定のクリア.....	60
BIOS ( システム セットアップ ) パスワードとシステム パスワードのクリア.....	60
<b>章 5: トラブルシューティング.....</b>	<b>61</b>
SupportAssist 診断.....	61
ビルトイン自己テスト ( BIST ) .....	61
システム ボード ビルトイン自己テスト ( M-BIST ) .....	62
モニター パネル母線のビルトイン自己テスト ( L-BIST ) .....	62
モニター パネルのビルトイン自己テスト ( LCD-BIST ) .....	63
結果.....	63
システム診断ライト.....	64
オペレーティング システムのリカバリー.....	65
BIOS のフラッシュ.....	65
BIOS のフラッシュ ( USB キー ) .....	65
バックアップ メディアとリカバリー オプション.....	66
Wi-Fi 電源の入れ直し.....	66
待機電力のリリース.....	66
<b>章 6: 「困ったときは」と「デルへのお問い合わせ」.....</b>	<b>67</b>

# コンピューター内部の作業

## PC 内部の作業を始める前に

このタスクについて

**メモ:** 本書の画像は、ご注文の構成によってお使いの PC と異なる場合があります。

### 手順

1. 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のアプリケーションをすべて終了します。
2. PC をシャットダウンします。 **Start > Power > Shut down** の順にクリックします。  
**メモ:** 他のおペレーティングシステムを使用している場合は、お使いのおペレーティングシステムのシャットダウン方法に関するマニュアルを参照してください。
3. PC および取り付けられているすべてのデバイスをコンセントから外します。
4. キーボード、マウス、モニターなど取り付けられているすべてのネットワークデバイスや周辺機器を PC から外します。  
**注意:** ネットワーク ケーブルを外すには、まずケーブルのプラグを PC から外し、次にケーブルをネットワークデバイスから外します。
5. すべてのメディアカードと光ディスクを PC から取り外します (取り付けられている場合)。

## 安全にお使いいただくために

身体の安全を守り、PC を損傷から保護するために、次の安全に関する注意に従ってください。特に記載のない限り、この文書に記載される各手順は、お使いの PC に付属の「安全にお使いいただくための注意事項」をすでにお読みいただいていることを前提とします。

- メモ:** PC 内部の作業を行う前に、お使いの PC に付属している「安全にお使いいただくために」をお読みください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの詳細については、法令遵守ホームページ ([www.dell.com/regulatory\\_compliance](http://www.dell.com/regulatory_compliance)) をご覧ください。
- メモ:** PC につないでいる電源をすべて外してから、PC カバーまたはパネルを開きます。PC 内部の作業を終えた後は、PC を電源コンセントに接続する前に、カバー、パネル、およびネジをすべて取り付けてください。  
**注意:** PC の損傷を避けるため、平らで乾いた清潔な場所で作業を行うようにしてください。
- 注意:** コンポーネントおよびカードは、損傷を避けるために端を持つようにしてください。ピンおよび接合部には触れないでください。
- 注意:** 許可されている、あるいは Dell テクニカルサポートチームによって指示を受けた内容のトラブルシューティングと修理のみを行うようにしてください。デルが許可していない修理による損傷は、保証できません。製品に付属の「安全にお使いいただくために」、または [www.dell.com/regulatory\\_compliance](http://www.dell.com/regulatory_compliance) を参照してください。
- 注意:** PC 内部の部品に触れる前に、PC 背面の金属部など塗装されていない金属面に触れて、身体の静電気を除去してください。作業中も、定期的に塗装されていない金属面に触れ、内蔵コンポーネントを損傷するおそれのある静電気を除去してください。
- 注意:** ケーブルを外すときは、コネクタまたはコネクタのプルタブを持つようにし、ケーブル自体を引っ張らないでください。一部のケーブルのコネクタ部には、ロックタブや蝶ネジが付いています。該当するケーブルを外す際には、これらを外す必要があります。ケーブルを外すときは、均等にそろえて、コネクタのピンを曲げないようにしてください。ケーブルを接続するときは、ポートとコネクタの向きが合っていることを確認してください。

△ **注意:** メディアカードリーダーに取り付けられたカードは、押して取り出します。

① **メモ:** お使いの PC の色および一部のコンポーネントは、本書で示されているものと異なる場合があります。

## ESD ( 静電気放出 ) 保護

電気パーツを取り扱う際、ESD は重要な懸念事項です。特に、拡張カード、プロセッサ、メモリ DIMM、およびシステムボードなどの静電気に敏感なパーツを取り扱う際に重要です。ほんのわずかな静電気でも、断続的に問題が発生したり、製品寿命が短くなったりするなど、目に見えない損傷が回路に発生することがあります。省電力および高密度設計の向上に向けて業界が前進する中、ESD からの保護はますます大きな懸念事項となってきています。

最近のデル製品で使用されている半導体の密度が高くなっているため、静電気による損傷の可能性は、以前のデル製品よりも高くなっています。このため、以前承認されていたパーツ取り扱い方法の一部は使用できなくなりました。

ESD による障害には、「致命的」および「断続的」の 2 つの障害のタイプがあります。

- ・ **致命的** – 致命的な障害は、ESD 関連障害の約 20 % を占めます。障害によりデバイスの機能が完全に直ちに停止します。致命的な障害の一例としては、静電気ショックを受けたメモリ DIMM が直ちに「No POST/No Video ( POST なし/ビデオなし )」症状を起こし、メモリが存在または機能しないことを示すビープコードが鳴るケースが挙げられます。
- ・ **断続的** – 断続的なエラーは、ESD 関連障害の約 80 % を占めます。この高い割合は、障害が発生しても、大半のケースにおいてすぐにはそれを認識することができないことを意味しています。DIMM が静電気ショックを受けたものの、トレースが弱まっただけで、外から見て分かる障害関連の症状はすぐには発生しません。弱まったトレースが機能停止するまでには数週間または数ヶ月かかることがあり、それまでの間に、メモリ整合性の劣化、断続的メモリエラーなどが発生する可能性があります。

認識とトラブルシューティングが困難なのは、「断続的」(「潜在的」または「障害を負いながら機能」とも呼ばれる) 障害です。

ESD による破損を防ぐには、次の手順を実行します。

- ・ 適切に接地された、有線の ESD リストバンドを使用します。ワイヤレスの静電気防止用リストバンドの使用は、現在許可されていません。これらのリストバンドでは、適切な保護がなされません。パーツの取り扱い前にシャーシに触れる方法では、感度が増したパーツを ESD から十分に保護することができません。
- ・ 静電気の影響を受けやすいすべてのコンポーネントは、静電気がない場所で扱います。可能であれば、静電気防止フロアパッドおよび作業台パッドを使用します。
- ・ 静電気の影響を受けやすいコンポーネントを輸送用段ボールから取り出す場合は、コンポーネントを取り付ける準備ができるまで、静電気防止梱包材から取り出さないでください。静電気防止パッケージを開ける前に、必ず身体から静電気を放出してください。
- ・ 静電気の影響を受けやすいコンポーネントを輸送する場合は、あらかじめ静電気防止コンテナまたは静電気防止パッケージに格納します。

## ESD フィールド・サービス・キット

最も頻繁に使用されるサービスキットは、監視されないフィールド・サービス・キットです。各フィールド・サービス・キットは、静電対策マット、リストストラップ、そしてボンディングワイヤーの 3 つの主要コンポーネントから構成されています。

## ESD フィールド・サービス・キットのコンポーネント

ESD フィールド・サービス・キットのコンポーネントは次のとおりです。

- ・ **静電対策マット** – 静電対策マットは散逸性があるため、サービス手順の間にパーツを置いておくことができます。静電対策マットを使用する際には、リストストラップをしっかりと装着し、ボンディングワイヤーをマットと作業中のシステムの地金部分のいずれかに接続します。正しく準備できたら、サービスパーツを ESD 袋から取り出し、マット上に直接置きます。ESD に敏感なアイテムは、手のひら、ESD マット上、システム内、または ESD 袋内で安全です。
- ・ **リストストラップとボンディングワイヤー** – リストストラップとボンディングワイヤーは、ESD マットが不要な場合に手首とハードウェアの地金部分に直接接続したり、マット上に一時的に置かれたハードウェアを保護するために静電対策マットに接続したりできます。皮膚、ESD マット、そしてハードウェアをつなぐ、リストストラップとボンディングワイヤーの物理的接続をボンディングと呼びます。リストストラップ、マット、そしてボンディングワイヤーが含まれたフィールド・サービス・キットのみを使用してください。ワイヤレスのリストストラップは使用しないでください。リストストラップの内部ワイヤーは、通常の装着によって損傷が発生します。よって、事故による ESD のハードウェア損傷を避けるため、リスト・ストラップ・テスターを使用して定期的な確認する必要があります。リストストラップとボンディングワイヤーは少なくとも週に一度テストすることをお勧めします。
- ・ **ESD リスト・ストラップ・テスター** – ESD ストラップの内側にあるワイヤーは、時間の経過に伴って損傷を受けます。監視されないキットを使用する場合には、サービスコールのたびに定期的にストラップをテストすることがベストプラクティスです。最低でも週に一度テストします。テストには、リスト・ストラップ・テスターを使用することが最善です。リスト・ストラップ・テス

ターを所有していない場合には、地域オフィスに在庫を問い合わせてください。テストを実行するには、リストストラップを手首に装着した状態で、リストストラップのボンディングワイヤーをテスターに接続し、ボタンを押してテストを行います。テスト合格の場合には緑のLEDが点灯し、テスト不合格の場合には赤いLEDが点灯し、アラームが鳴ります。

- ・ **絶縁体要素** – プラスチック製のヒートシンクの覆いなど、ESDに敏感なデバイスを、高く帯電していることが多いインシュレータ内蔵パーツから遠ざけることが重要です。
- ・ **作業現場環境** – ESD フィールド・サービス・キットを配備する前に、お客様の場所の状況を評価します。たとえば、サーバ環境用にキットを配備するのと、デスクトップや携帯デバイス用にキットを配備することは異なります。サーバは通常、データセンター内のラックに設置され、デスクトップや携帯デバイスはオフィスのデスク上か、仕切りで区切られた作業場所に配置されます。物品が散乱しておらずESDキットを広げるために十分な平らな広いエリアを探してください。このとき、修理対象のシステムのためのスペースも考慮してください。また、作業場所にESDの原因と成り得る絶縁体がないことも確認します。ハードウェアコンポーネントを実際に取り扱う前に、作業場所では常に発泡スチロールおよびその他のプラスチックなどのインシュレータは敏感なパーツから最低30 cm (12 インチ) 離して置きます。
- ・ **静電気を防止する梱包** – すべてのESDに敏感なデバイスは、静電気の発生しない梱包材で発送および受領する必要があります。メタルアウト/静電気防止袋の使用をお勧めします。なお、損傷した部品は、新しい部品が納品されたときと同じESD保護袋とパッケージを使用して返却される必要があります。ESD保護袋は折り重ねてテープで封をし、新しい部品が納品されたときの箱に同じエアクッション梱包材をすべて入れてください。ESDに敏感なデバイスは、ESD保護の作業場でのみパッケージから取り出すようにします。ESD保護袋では、中身のみ保護されるため、袋の表面に部品を置かないでください。パーツは常に、手の中、ESDマット上、システム内、または静電気防止袋内にあるようにしてください。
- ・ **敏感なコンポーネントの輸送** – 交換用パーツやデルに返却するパーツなど、ESDに敏感なパーツを輸送する場合には、安全に輸送するため、それらのパーツを静電気防止袋に入れることが非常に重要です。

## ESD 保護の概要


すべてのフィールドサービス技術者は、デル製品を保守する際には、従来型の有線ESD接地リストバンドおよび保護用の静電対策マットを使用することをお勧めします。さらに技術者は、サービスを行う際に、静電気に敏感なパーツからあらゆる絶縁体パーツを遠ざけ、静電気に敏感なパーツの運搬には静電気防止バッグを使用することが非常に重要です。

## 敏感なコンポーネントの輸送

交換パーツまたはデルに返送する部品など、ESDに敏感なコンポーネントを輸送する場合は、安全輸送用の静電気防止袋にこれらの部品を入れることが重要です。

## 装置の持ち上げ


重量のある装置を持ち上げる際は、次のガイドラインに従います。

 **注意:** 50 ポンド以上の装置は持ち上げないでください。常に追加リソースを確保しておくか、機械のリフトデバイスを使用します。

1. バランスの取れた足場を確保します。足を開いて安定させ、つま先を外に向けます。
2. 腹筋を締めます。腹筋は、持ち上げる際に背骨を支え、負荷の力を弱めます。
3. 背中ではなく、脚を使って持ち上げます。
4. 荷を身体に近づけます。背骨に近づけるほど、背中に及ぶ力が減ります。
5. 荷を持ち上げるときも降ろすときも背中を伸ばしておきます。荷に体重をかけてないでください。身体や背中をねじらないようにします。
6. 反対に荷を置くときも、同じ手法に従ってください。

## PC 内部の作業を終えた後に

このタスクについて

 **注意:** PC 内部にネジが残っていたり、緩んでいたりすると、PC に深刻な損傷を与える恐れがあります。

### 手順

1. すべてのネジを取り付けて、PC 内部に外れたネジが残っていないことを確認します。
2. PC での作業を始める前に、取り外したすべての外付けデバイス、周辺機器、ケーブルを接続します。
3. PC での作業を始める前に、取り外したすべてのメディアカード、ディスク、その他のパーツを取り付けます。
4. PC、および取り付けられているすべてのデバイスをコンセントに接続します。

5. PC の電源を入れます。



# コンポーネントの取り外しと取り付け

## 推奨ツール

この文書で説明する操作には、以下のツールが必要です。

- ・ プラスドライバー No.0
- ・ プラスドライバー No.1
- ・ トルクス5番 (T5) ドライバー
- ・ プラスチックスクライブ

## ネジのリスト

- ① メモ:** コンポーネントからネジを取り外す際は、ネジの種類、ネジの数量をメモし、その後ネジの保管箱に入れておくことをお勧めします。これは、コンポーネントを交換する際に正しいネジの数量と正しいネジの種類を保管しておくようにするためです。
- ① メモ:** 一部のコンピューターには、磁性面があります。コンポーネントを交換する際、ネジが磁性面に取り付けられたままになっていないことを確認してください。
- ① メモ:** ネジの色は、発注時の構成によって異なります。

表 1. ネジのリスト

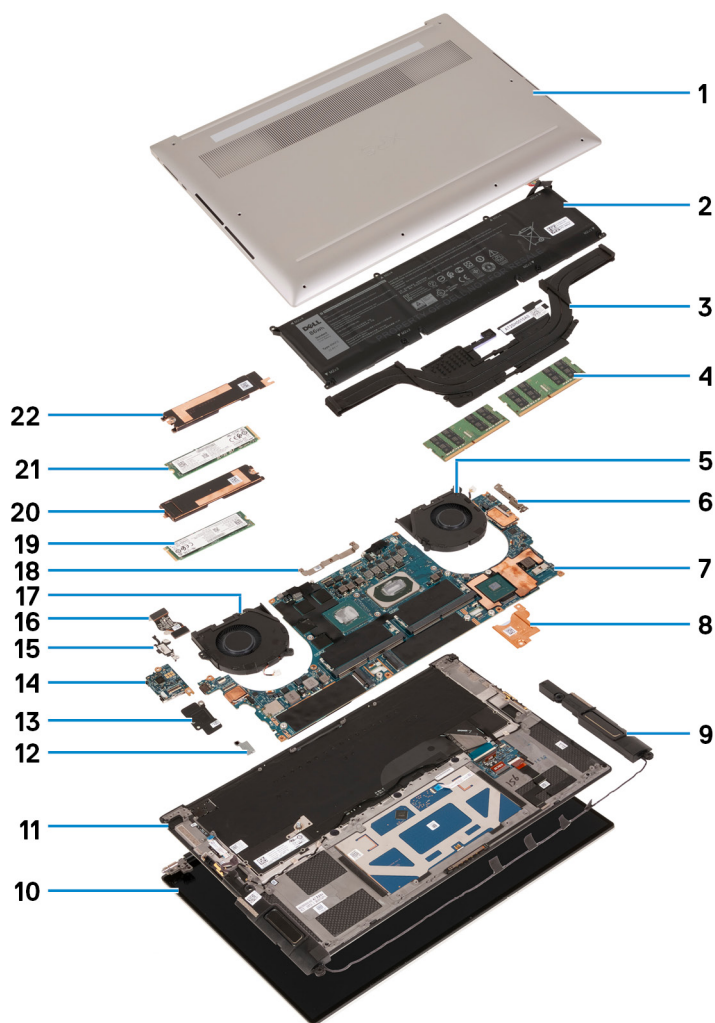
コンポーネント	固定先	ネジの種類	数	ネジの画像
ベースカバー	パームレストとキーボードアセンブリー	M2x3	8	
バッテリー	パームレストとキーボードアセンブリー	M2x3	4	
バッテリー	パームレストとキーボードアセンブリー	M2x4	4	
右側のファン	システム ボードおよびパームレストとキーボードアセンブリー	M2x4	1	
I/O ボードシールド	I/O ボード	M2x4	1	
左側のファン	システム ボードおよびパームレストとキーボードアセンブリー	M2x4	2	
ソリッドステートドライブ 1	システム ボード	M2x2	1	
ソリッドステートドライブ 2	システム ボード	M2x2	1	

表 1. ネジのリスト ( 続き )

コンポーネント	固定先	ネジの種類	数	ネジの画像
スピーカー	パームレストとキーボードアセンブリー	M2x2	4	
グラフィックスカードプロセッササーマルシールドカバー	システムボード	M2x2	2	
Type-C ブラケット	パームレストとキーボードアセンブリー	M2x4	2	
ディスプレイアセンブリーケーブルブラケット	システムボード	M2x2	3	
ディスプレイアセンブリーケーブルホルダー	パームレストとキーボードアセンブリー	M1.6x3	2	
左のヒンジ	システムボードおよびパームレストとキーボードアセンブリー	M2.5x5.5	4	
右のヒンジ	システムボードおよびパームレストとキーボードアセンブリー	M2.5x5.5	4	
ワイヤレスカードブラケット	システムボード	M1.6x3	1	
システムボード	パームレストとキーボードアセンブリー	M2x4	2	
タッチパッド	パームレストとキーボードアセンブリー	M1.6x2.5	4	
タッチパッド	パームレストとキーボードアセンブリー	M2x2	4	

## XPS-15 9500 の主要なコンポーネント

次の画像は、XPS-15 9500 の主要なコンポーネントを示しています。



1. ベースカバー
2. バッテリー
3. ヒート シンク
4. メモリー モジュール
5. 右側のファン
6. USB Type-C ブラケット
7. システム ボード
8. グラフィックス カードプロセッサ サーマル ブラケット
9. スピーカー
10. ディスプレイ アセンブリー
11. パームレストとキーボードアセンブリー
12. ワイヤレスカードブラケット
13. I/O ボード シールド
14. I/O ボード
15. USB Type-C ポート ブラケット
16. I/O ボードケーブル
17. 左側のファン
18. ディスプレイアセンブリー ケーブル ブラケット
19. ソリッドステート ドライブ 2
20. ソリッドステート ドライブ 2 のサーマル ブラケット
21. ソリッドステート ドライブ 1
22. ソリッドステート ドライブ 1 のサーマル ブラケット

**メモ:** デルでは、システム購入時の初期構成のコンポーネントとパーツ番号のリストを提供しています。これらのパーツは、お客様が購入した保証対象に応じて提供されます。購入オプションについては、デルのセールス担当者にお問い合わせください。

# ベースカバー

## ベースカバーの取り外し

### 前提条件

1. PC 内部の作業を始める前にの手順に従います。

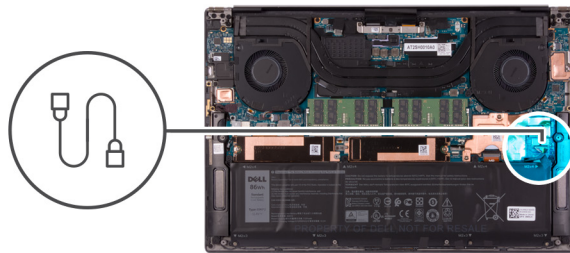
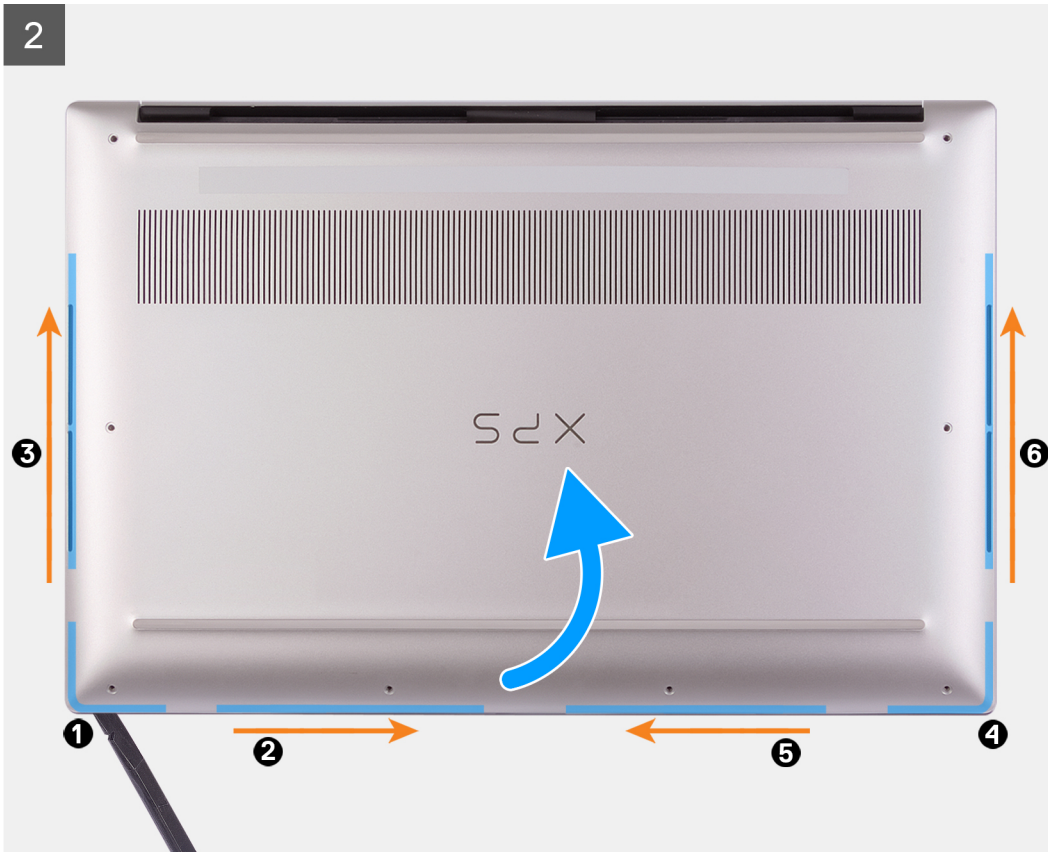
### このタスクについて

次のイメージは、ベースカバーの場所を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



**8x**  
M2x3





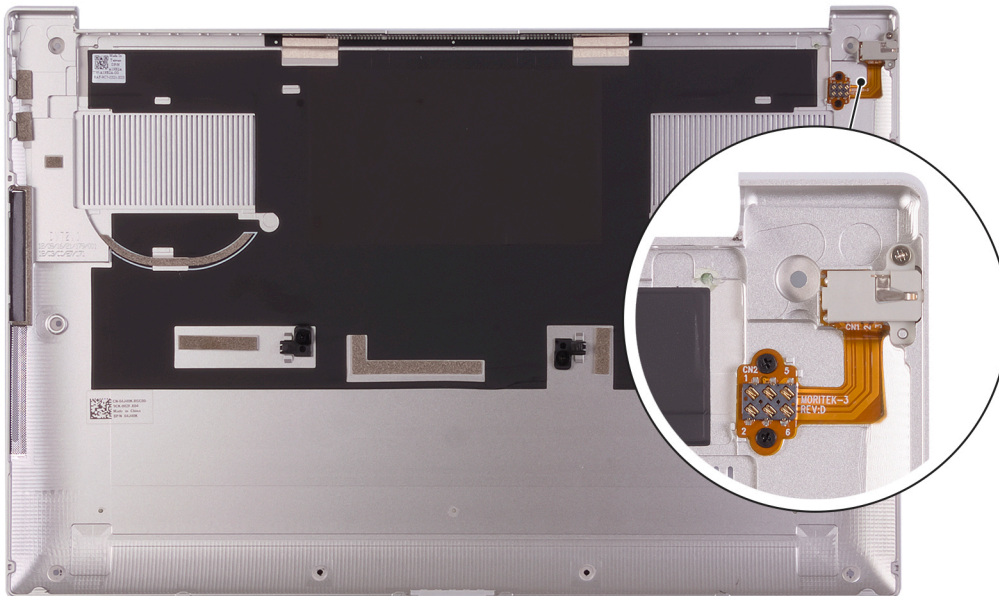


### 手順

1. ベースカバーをパームレストとキーボードアセンブリーに固定している8本のネジ（M2x3）を外します。

**△ 注意:** ベースカバーが損傷する可能性があるため、ヒンジがある側でベースカバーを引き出さないでください。

**△ 注意:** ベースカバーは、オーディオドーターボードで事前に組み立てられています。ベースカバーの下部にあるピンは壊れやすいです。このピンにより、アンテナとオーディオドーターボードが取り付けられます。ピンの損傷を防ぐため、ベースカバーを清潔な面に置きます。



2. 左下隅から順に、プラスチックスクライブを使用してベースカバーを矢印の方向に持ち上げ、ベースカバーをパームレストとキーボードアセンブリーから外します。
3. ベースカバーの左側と右側をつかんで、ベースカバーをパームレストとキーボードアセンブリーから取り外します。

**i メモ:** 次の手順は、PCから他のコンポーネントをさらに取り外す場合のみ行います。

**i メモ:** バッテリーケーブルの取り外し、バッテリーの取り外し、または待機電力の放電によりCMOSがクリアされ、PCのBIOS設定がリセットされます。

**メモ:** PC が再アセンブリーされ電源がオンになると、リアルタイムクロック (RTC) をリセットするよう求められます。RTC リセット サイクルが発生すると、PC が数回再起動し、「時刻が設定されていません」というエラーメッセージが表示されます。このエラーが表示された場合は、BIOS を入力して通常の機能を再開するために PC の日付と時刻を設定します。

4. バッテリーケーブルをシステム ボードから外します。
5. 待機電力を逃がすため、PC の向きを変えて電源ボタンを 15 秒間押し続けます。

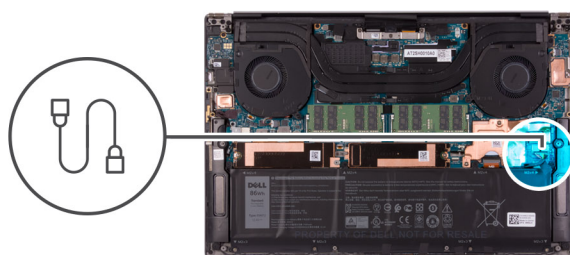
## ベース カバーの取り付け

### 前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

### このタスクについて

次のイメージは、ベース カバーの場所を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。





8x  
M2x3

2



#### 手順

1. 必要に応じて、バッテリーケーブルをシステム ボードに接続します。
2. ベース カバーのネジ穴をパームレストとキーボード アセンブリーのネジ穴に合わせます。
3. 右下の角から始めてベース カバーをはめ込みます。ベース カバーの中央を合わせた後、左下の角のネジ穴を合わせて、ベース カバーを所定の位置にはめ込みます。
4. ベース カバーをパームレストとキーボード アセンブリーに固定する 8 本のネジ (M2x3) を取り付けます。

#### 次の手順

**メモ:** PC が再アセンブリーされ電源がオンになると、リアルタイムクロック (RTC) をリセットするよう求められます。RTC リセットサイクルが発生すると、PC が数回再起動し、「時刻が設定されていません」というエラーメッセージが表示されます。このエラーが表示された場合は、BIOS を入力して通常の機能を再開するために PC の日付と時刻を設定します。

1. PC 内部の作業を終えた後にこの手順に従います。

## バッテリー

### リチウムイオンバッテリーに関する注意事項

#### 注意:

- リチウムイオンバッテリーを取り扱う際は、十分に注意してください。



- バッテリーを取り外す前に、バッテリーを完全に放電させます。システムから AC 電源アダプターを取り外し、バッテリー電源のみで PC を動作させます。電源ボタンを押したときに PC の電源が入らなくなると、バッテリーは完全に放電されます。
- バッテリーを破壊したり、落としたり、損傷させたり、バッテリーに異物を侵入させたりしないでください。
- バッテリーを高温にさらしたり、バッテリーパックまたはセルを分解したりしないでください。
- バッテリーの表面に圧力をかけないでください。
- バッテリーを曲げないでください。
- 種類にかかわらず、ツールを使用してバッテリーをこじ開けないでください。
- バッテリーやその他のシステムコンポーネントの偶発的な破裂や損傷を防ぐため、この製品のサービス作業中に、ネジを紛失したり置き忘れたりしないようにしてください。
- 膨張によってリチウムイオンバッテリーがコンピュータ内で詰まってしまう場合、穴を開けたり、曲げたり、押しつぶしたりすると危険なため、無理に取り出そうとしないでください。そのような場合は、デルテクニカルサポートにお問い合わせください。[www.dell.com/contactdell](http://www.dell.com/contactdell) を参照してください。
- 必ず、[www.dell.com](http://www.dell.com) または Dell 認定パートナーおよび再販業者から正規のバッテリーを購入してください。

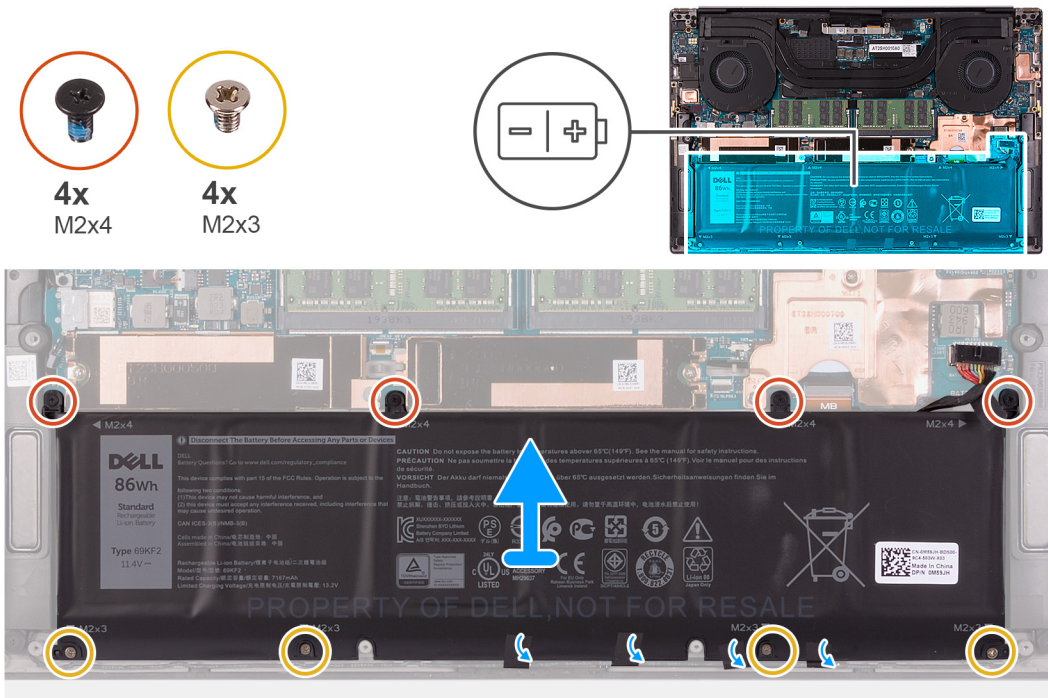
## バッテリーの取り外し

### 前提条件

1. PC 内部の作業を始める前に手順に従います。
  2. ベースカバーを取り外します。
- メモ:** バッテリーケーブルの取り外し、バッテリーの取り外し、または待機電力の放電により CMOS がクリアされ、PC の BIOS 設定がリセットされます。

### このタスクについて

次の図は、バッテリーの場所を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



### 手順

1. 事前にバッテリーケーブルをシステムボードから外していない場合は外します。
2. バッテリーをパームレストとキーボードアセンブリーに固定している 4 本のネジ (M2x4) を外します。
3. バッテリーをパームレストとキーボードアセンブリーに固定している 4 本のネジ (M2x3) を取り外します。

4. スピーカー ケーブルをバッテリーに固定しているテープを剥がします。
5. バッテリーを持ち上げて、パームレストとキーボード アセンブリーから取り外します。

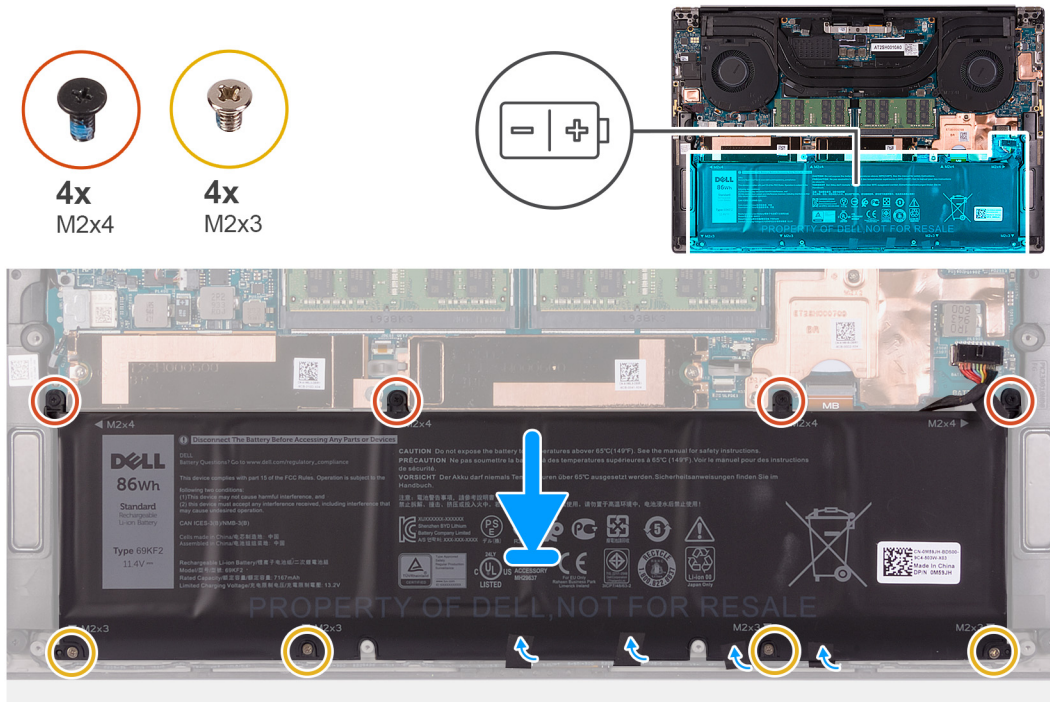
## バッテリーの取り付け

### 前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

### このタスクについて

次の図は、バッテリーの場所を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



### 手順

1. バッテリーのネジ穴をパームレストとキーボードアセンブリーのネジ穴に合わせます。
2. スピーカーケーブルをバッテリーに固定するテープを貼り付けます。
3. バッテリーをパームレストとキーボードアセンブリーに固定する4本のネジ (M2x3) を取り付けます。
4. バッテリーをパームレストとキーボードアセンブリーに固定する4本のネジ (M2x4) を取り付けます。
5. バッテリーケーブルをシステムボードに接続します。

### 次の手順

1. ベースカバーを取り付けます。
2. PC内部の作業を終えた後に手順に従います。

## メモリモジュール

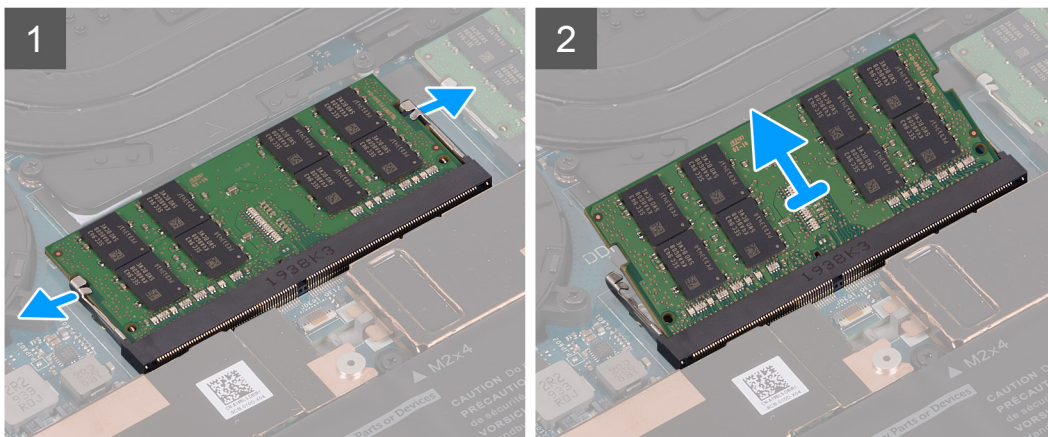
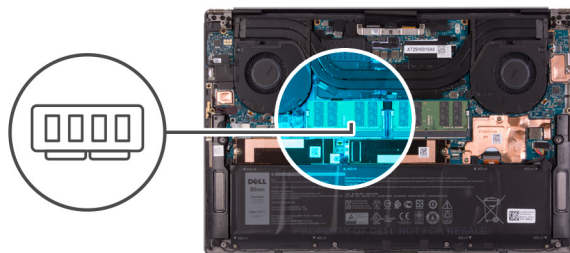
### メモリーの取り外し

### 前提条件

1. PC内部の作業を始める前に手順に従います。
2. ベースカバーを取り外します。

### このタスクについて

以下の画像はメモリ モジュールの位置を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



### 手順

1. メモリモジュールスロットの両端にある固定クリップを、メモリモジュールが持ち上がるまで指先で慎重に広げます。
2. メモリモジュールをスライドさせて、メモリモジュールスロットから取り外します。

**メモ:** お使いの PC で使用可能な場合は、手順 1 および 2 を繰り返して他のメモリー モジュールを取り外します。

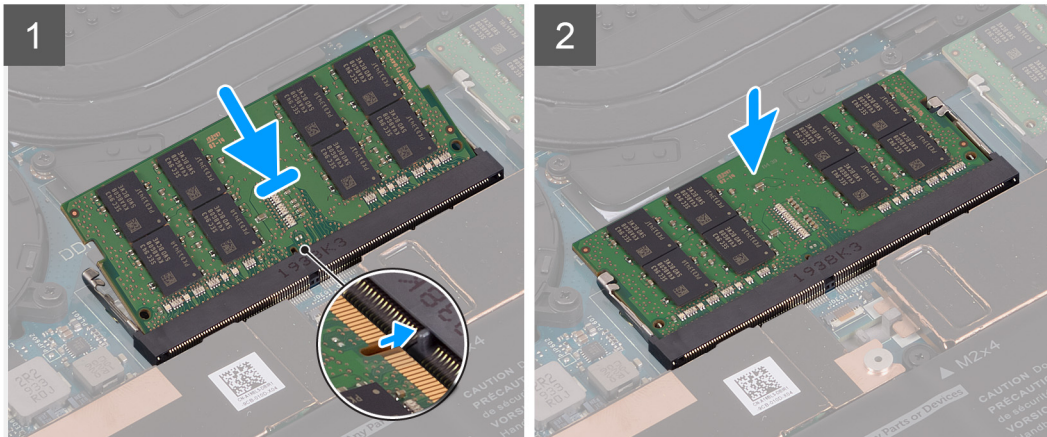
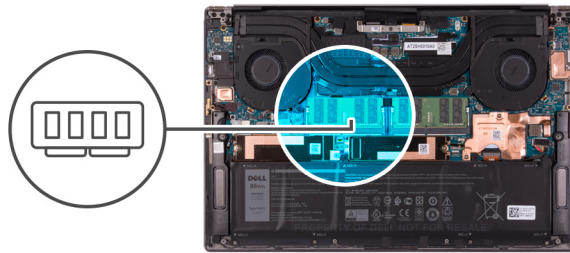
## メモリーの取り付け

### 前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

### このタスクについて

次の画像はメモリー モジュールの位置を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



## 手順

1. メモリーモジュールの切り込みをメモリーモジュールスロットのタブに合わせます。
2. メモリーモジュールを傾けて、メモリーモジュールスロットにしっかりと差し込みます。
3. 所定の位置にカチッと収まるまで、メモリーモジュールを押し込みます。

**i** **メモ:** カチッという感触がない場合は、メモリーモジュールを取り外して、もう一度差し込んでください。

**i** **メモ:** お使いの PC で使用可能な場合は、手順 1~3 を繰り返して他のメモリーモジュールを取り付けます。

## 次の手順

1. ベースカバーを取り付けます。
2. PC 内部の作業を終えた後に手順に従います。

# ソリッドステートデバイス

## ソリッドステートドライブ1の取り外し

### 前提条件

1. PC 内部の作業を始める前に手順に従います。

**△** **注意:** SSD は非常に壊れやすいものです。ソリッドステートドライブの取り扱いには細心の注意を払ってください。

**△** **注意:** データロスを防ぐため、PC の電源が入っている状態、またはスリープ状態のときにソリッドステートドライブを取り外さないでください。

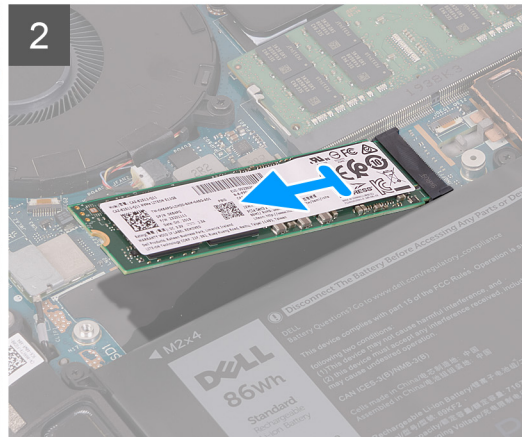
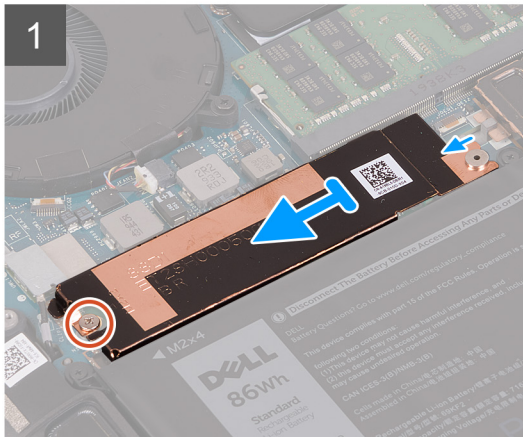
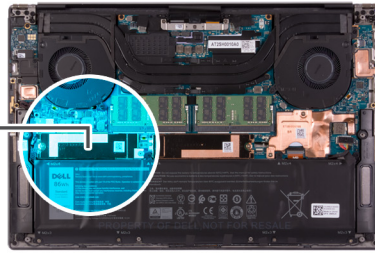
2. ベースカバーを取り外します。

### このタスクについて

次の画像はソリッドステートドライブ1の位置を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



1x  
M2x2



## 手順

1. ソリッドステートドライブのサーマルブラケットとソリッドステートドライブ1をシステムボードに固定しているネジ (M2x2) を取り外します。
2. ソリッドステートドライブのサーマルブラケットを位置合わせポストから引き出し、システムボードから持ち上げます。
3. ソリッドステートドライブ1をスライドさせて、ソリッドステートドライブスロットから取り外します。

**メモ:** ソリッドステートドライブのサーマルブラケットのサイズは、ストレージタイプによって異なります。**M.2 2280** ドライブ用に設計されたソリッドステートドライブのサーマルブラケットは、**M.2 2230** ドライブに対応しておらず、その逆も同様です。

## ソリッドステートドライブ1の取り付け

### 前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

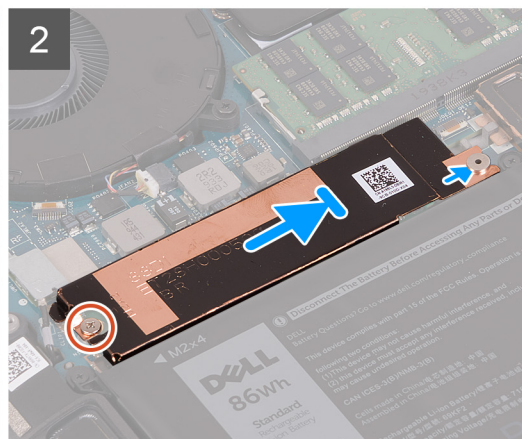
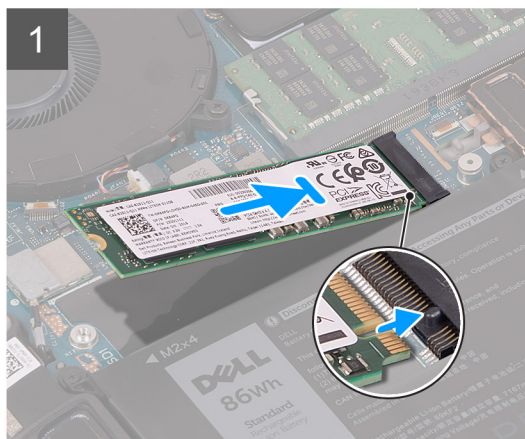
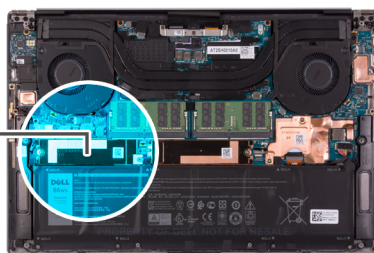
**注意:** SSD は非常に壊れやすいものです。ソリッドステートドライブの取り扱いには細心の注意を払ってください。

### このタスクについて

次の画像はソリッドステートドライブ1の位置を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



1x  
M2x2



## 手順

1. ソリッドステート ドライブ1の切り込みを、ソリッドステート ドライブ スロットのタブに合わせます。
2. ソリッドステート ドライブ1をソリッドステート ドライブ スロットにゆっくりと差し込みます。
3. ソリッドステート ドライブのサーマル ブラケットを、システム ボードの位置合わせポストに差し込みます。
4. ソリッドステート ドライブのサーマル ブラケットのネジ穴を、システム ボードのネジ穴に合わせます。

**メモ:** ソリッドステート ドライブのサーマル ブラケットのサイズは、ストレージ タイプによって異なります。M.2 2280 ドライブ用に設計されたソリッドステート ドライブのサーマル ブラケットは、M.2 2230 ドライブに対応しておらず、その逆も同様です。

5. ソリッドステート ドライブのサーマル ブラケットとソリッドステート ドライブ1をシステム ボードに固定するネジ (M2x2) を取り付けます。

## 次の手順

1. ベースカバーを取り付けます。
2. PC 内部の作業を終えた後にの手順に従います。

# ソリッドステート ドライブ 2 の取り外し

## 前提条件

1. PC 内部の作業を始める前にの手順に従います。

**注意:** SSD は非常に壊れやすいものです。ソリッドステート ドライブの取り扱いには細心の注意を払ってください。

**注意:** データ ロスを防ぐため、PC の電源が入っている状態、またはスリープ状態のときに SSD を取り外さないでください。

2. ベース カバーを取り外します。

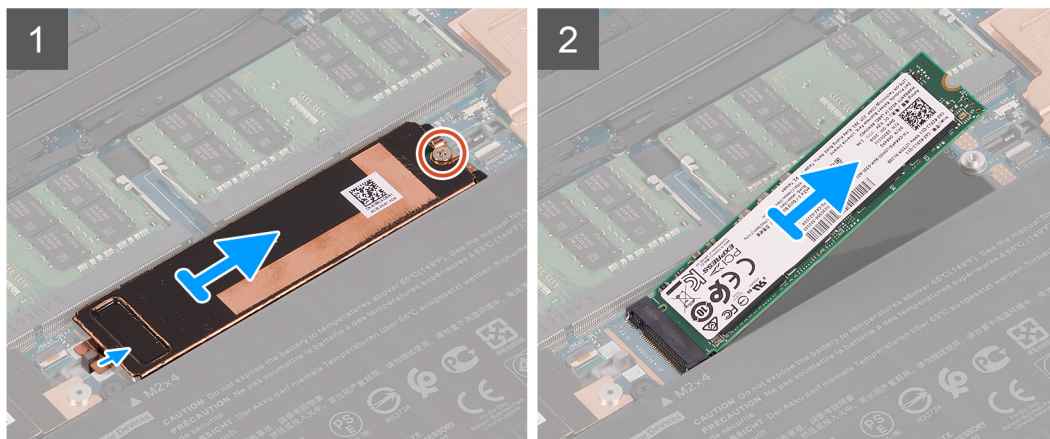
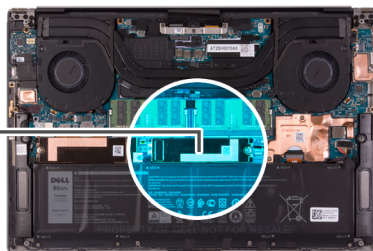
## このタスクについて

次の図は、SSD の場所を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。

手順 :



1x  
M2x2



## 手順

1. ソリッドステートドライブのサーマルブラケットとソリッドステートドライブ2をシステムボードに固定しているネジ (M2x2) を外します。
2. ソリッドステートドライブのサーマルブラケットを位置合わせポストから引き出し、システムボードから持ち上げます。
3. ソリッドステートドライブ2をスライドさせて、ソリッドステートドライブスロットから取り外します。

**メモ:** ソリッドステートドライブのサーマルブラケットのサイズは、ストレージタイプによって異なります。M.2 2280 ドライブ用に設計されたソリッドステートドライブのサーマルブラケットは、M.2 2230 ドライブに対応しておらず、その逆も同様です。

## ソリッドステートドライブ2の取り付け

### 前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

**注意:** SSD は非常に壊れやすいものです。ソリッドステートドライブの取り扱いには細心の注意を払ってください。

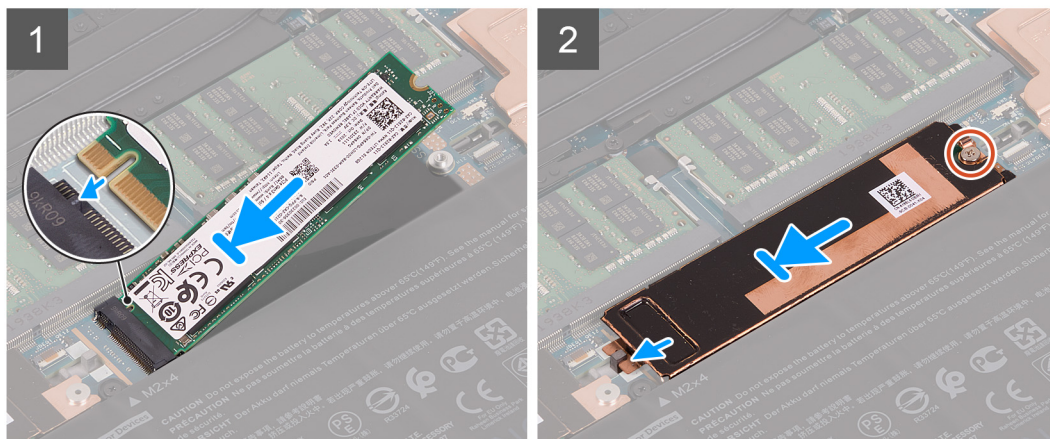
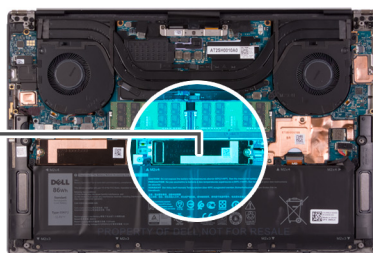
**メモ:** お使いの PC は 2 個のソリッドステートドライブスロットをサポートしています。ソリッドステートドライブ1はプライマリスロットで、ソリッドステートドライブ2はセカンダリースロットです。ソリッドステートドライブを1個のみ取り付ける場合は、ドライブをプライマリスロットに取り付けます。使用可能な場合、2個目のソリッドステートドライブをソリッドステートドライブ2スロットに取り付けます。

### このタスクについて

次の画像はソリッドステートドライブ2の位置を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



1x  
M2x2



## 手順

1. ソリッドステート ドライブ 2 の切り込みを、ソリッドステート ドライブ スロットのタブに合わせます。
2. ソリッドステート ドライブ 2 をソリッドステート ドライブ スロットにゆっくりと差し込みます。
3. ソリッドステート ドライブのサーマル ブラケットをシステム ボードの位置合わせポストにスライドさせ、ソリッドステート ドライブのサーマル ブラケットのネジ穴をシステム ボードのネジ穴に合わせます。

**メモ:** ソリッドステート ドライブのサーマル ブラケットのサイズは、ストレージ タイプによって異なります。M.2 2280 ドライブ用に設計されたソリッドステート ドライブのサーマル ブラケットは、M.2 2230 ドライブに対応しておらず、その逆も同様です。

4. ソリッドステート ドライブのサーマル ブラケットとソリッドステート ドライブ 2 をシステム ボードに固定するネジ (M2x2) を取り付けます。

## 次の手順

1. ベースカバーを取り付けます。
2. PC 内部の作業を終えた後にの順に従います。

# M.2 2230 ソリッドステート ドライブの取り付け

## 前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

## このタスクについて

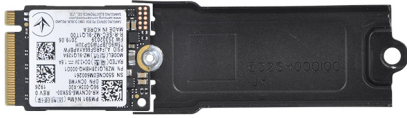
この PC では、次の 2 種類のソリッドステート ドライブ フォーム ファクターをサポートしています。

- ・ M.2 2230
- ・ M.2 2280

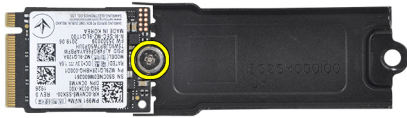
M.2 2280 ソリッドステート ドライブを M.2 2230 ソリッドステート ドライブに取り変える場合、次の画像に示されているように、PC に 2230 ソリッドステート ドライブを取り付ける前に、ソリッドステート ドライブ ブラケットを M.2 2230 ソリッドステート ドライブ カードに取り付けます。

1. ソリッドステート ドライブの印刷面を上に向けて、M.2 2230 ソリッドステート ドライブのネジ穴を M.2 ソリッドステート ドライブ ブラケットのネジ穴に合わせます。





2. M2x2 ネジを使用して、M.2 2230 ソリッドステート ドライブをブラケットに固定します。



3. M.2 2230 ソリッドステート ドライブ カードをソリッドステート ドライブ カード スロット 1に取り付けるには、「[ソリッドステートドライブ1の取り付け](#)」を参照してください。M.2 2230 ソリッドステート ドライブ カードをソリッドステート ドライブ カード スロット 2に取り付けるには、「[ソリッドステートドライブ2の取り付け](#)」を参照してください。

## ファン

### 左側のファンの取り外し

#### 前提条件

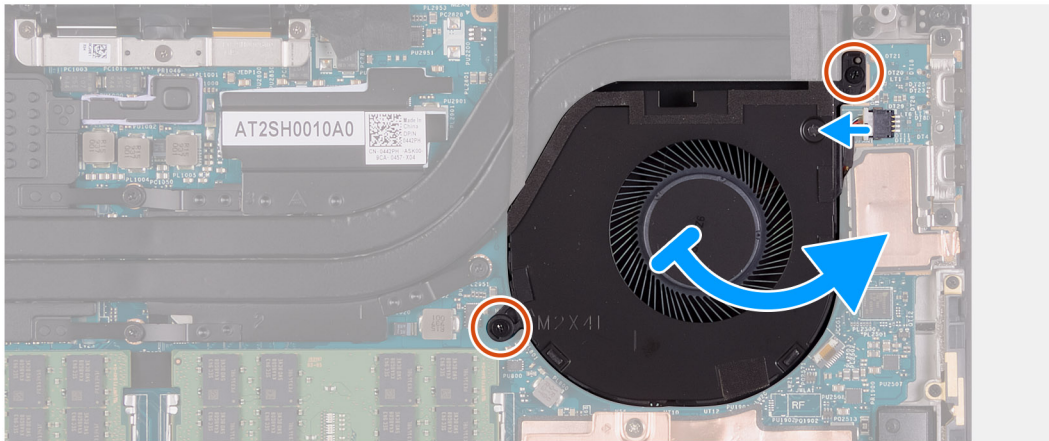
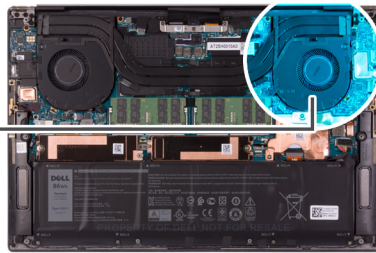
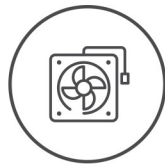
1. [PC 内部の作業を始める前](#)にの手順に従います。
2. [ベースカバー](#)を取り外します。

#### このタスクについて

次の画像は左側のファンの位置を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。




2x  
M2x4



### 手順

1. ファン ケーブルをシステム ボードから外します。
2. ファンをシステム ボード、パームレスト、およびキーボード アセンブリーに固定している 2 本のネジ (M2x4) を外します。

 **注意:** 中央のベアリングが破損する可能性があるため、ファン アセンブリーを中央に置かないでください。

3. ファンをヒート シンクから引き出して、パームレストとキーボード アセンブリーから持ち上げます。

## 左側のファンの取り付け

### 前提条件

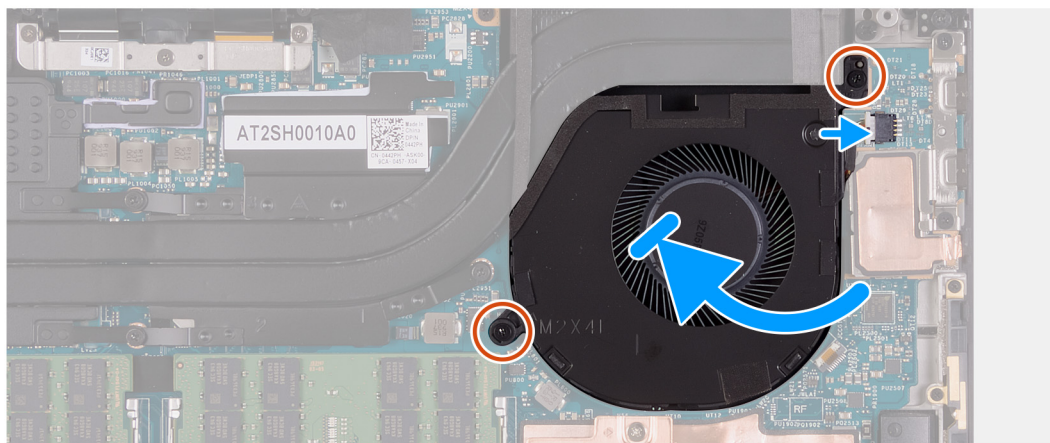
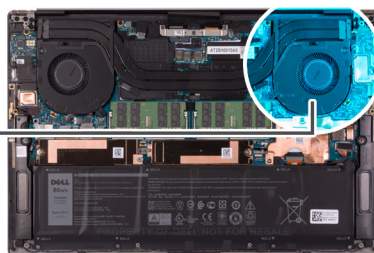
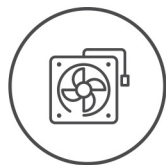
コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

### このタスクについて

次の画像は左側のファンの位置を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



2x  
M2x4



### 手順

1. ファンケーブルをシステムボードに接続します。
2. ヒートシンクの下にファンをスライドさせて、ファンのネジ穴をシステムボード、パームレスト、およびキーボードアセンブリーのネジ穴に合わせます。
3. ファンをシステムボード、パームレスト、およびキーボードアセンブリーに固定する2本のネジ (M2x4) を取り付けます。

### 次の手順

1. ベースカバーを取り付けます。
2. PC内部の作業を終えた後にこの手順に従います。

## 右側のファンの取り外し

### 前提条件

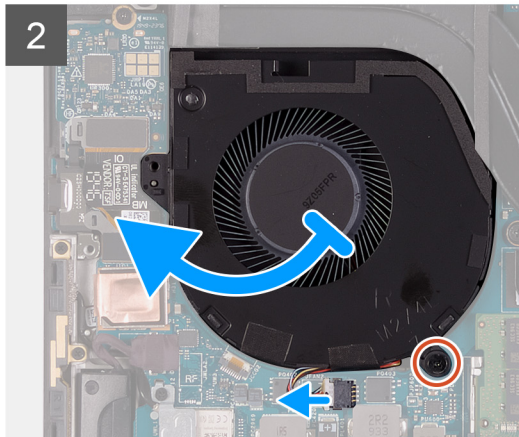
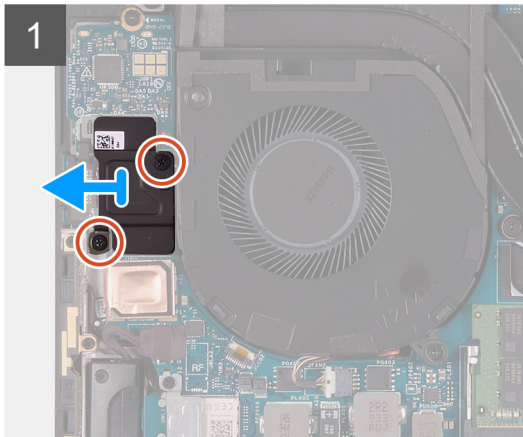
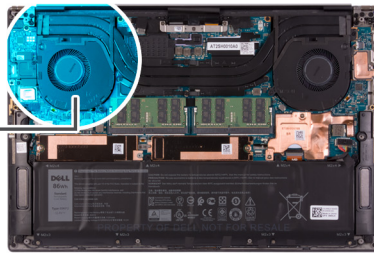
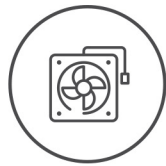
1. PC内部の作業を始める前この手順に従います。
2. ベースカバーを取り外します。

### このタスクについて

次の画像は右側のファンの位置を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。




3x  
M2x4



#### 手順

1. I/O ボード シールドをファン、パームレスト、およびキーボード アセンブリーに固定している 2 本のネジ (M2x4) を外します。
2. I/O ボード シールドを持ち上げて、システム ボードから取り外します。
3. ファンをシステム ボードに固定しているネジ (M2x4) を外します。
4. ファン ケーブルをシステム ボードから外します。

 **注意:** 中央のベアリングが破損する可能性があるため、ファン アセンブリーを中央に置かないでください。

5. ファンをヒート シンクから引き出して、パームレストとキーボード アセンブリーから持ち上げて取り外します。

## 右側のファンの取り付け

#### 前提条件

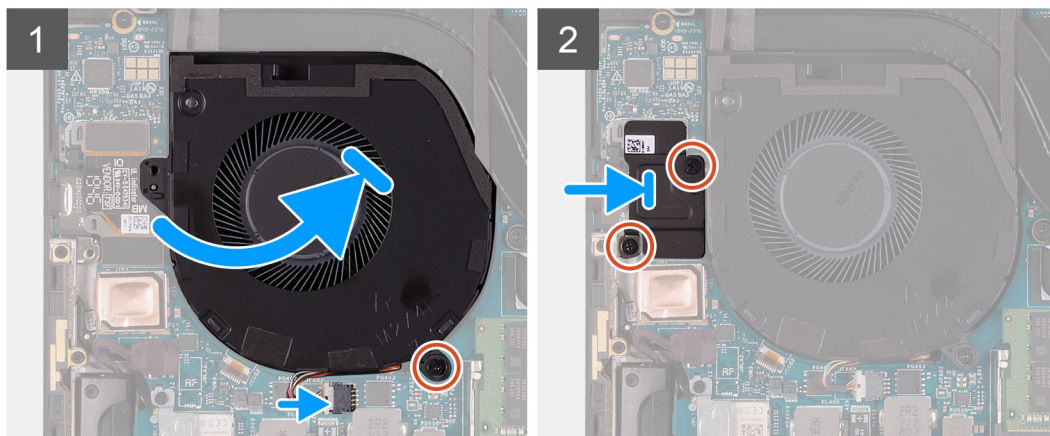
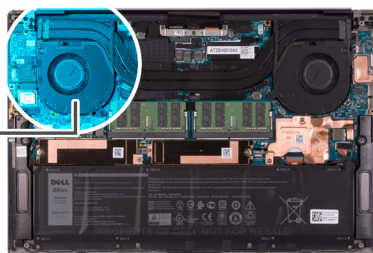
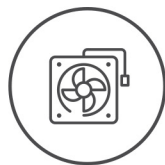
コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

#### このタスクについて

次の画像は右側のファンの位置を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



3x  
M2x4



## 手順

1. ヒートシンクの下にあるファンをスライドさせて、ファンのネジ穴をパームレストとキーボードアセンブリーのネジ穴に合わせます。
2. ファンをシステムボードに固定するネジ (M2x4) を取り付けます。
3. ファンケーブルをシステムボードに接続します。
4. I/O ボードシールドのネジ穴をファンとシステムボードのネジ穴に合わせます。
5. I/O ボードシールドをファン、パームレスト、およびキーボードアセンブリーに固定する2本のネジ (M2x4) を取り付けます。

## 次の手順

1. ベースカバーを取り付けます。
2. PC内部の作業を終えた後にの順に従います。

# ヒートシンク

## ヒートシンクの取り外し

### 前提条件

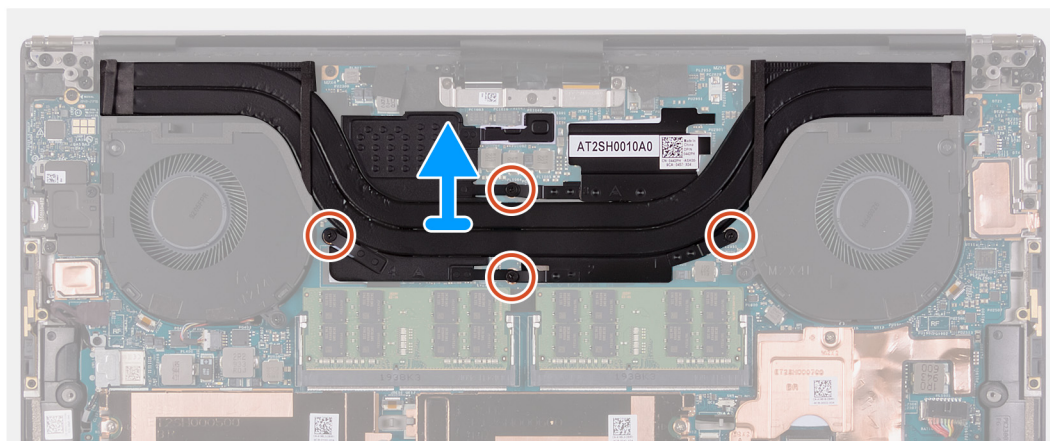
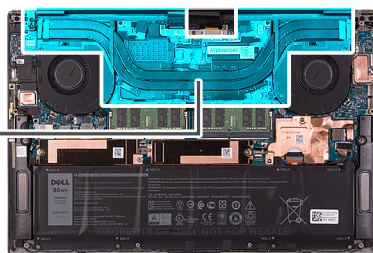
1. PC内部の作業を始める前の順に従います。
  - 注意:** プロセッサの冷却効果を最大にするために、ヒートシンクの放熱部分には触れないでください。皮脂が付着すると、サーマルグリースの放熱機能が低下する場合があります。
  - メモ:** 通常のオペレーション中に、ヒートシンクが高温になる場合があります。温度が十分に下がりヒートシンクが冷えるのを待って、触ってください。
2. ベースカバーを取り外します。

### このタスクについて

次の図は、ヒートシンクの場所を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



4x



## 手順

1. ヒートシンク上の表示とは逆のシーケンシャルな順序で、ヒートシンクをシステムボードに固定している4本の拘束ネジを緩めます。
2. ヒートシンクを持ち上げて、システムボードから取り外します。

# ヒートシンクの取り付け

## 前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

**△ 注意:** ヒートシンクの位置が正しく合っていないと、システムボードとプロセッサを損傷する可能性があります。

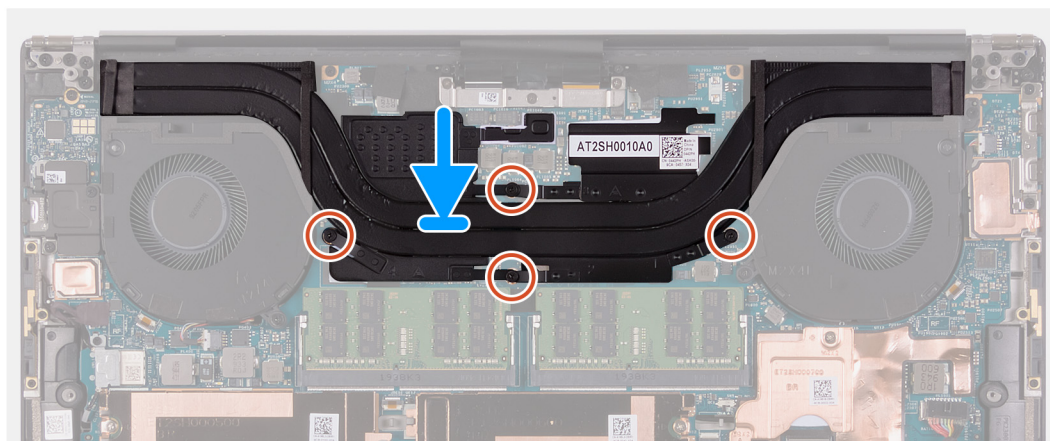
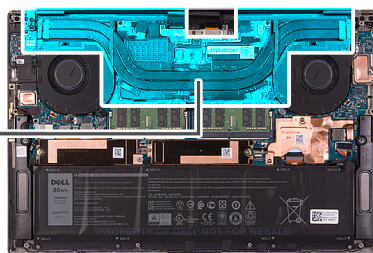
**ⓘ メモ:** システムボードまたはヒートシンクのいずれかを取り付ける場合は、熱伝導性を確保するために、キット内のサーマルパッドまたはサーマルペーストを使用してください。

## このタスクについて

次の図は、ヒートシンクの場所を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



4x



## 手順

1. ヒートシンクのネジ穴をシステムボードのネジ穴に合わせます。
2. ヒートシンク上に表示されているシーケンシャルな順序で、ヒートシンクをシステムボードに固定する4本の拘束ネジを締めます。

## 次の手順

1. ベースカバーを取り付けます。
2. PC内部の作業を終えた後にこの手順に従います。

# スピーカー

## スピーカーの取り外し

### 前提条件

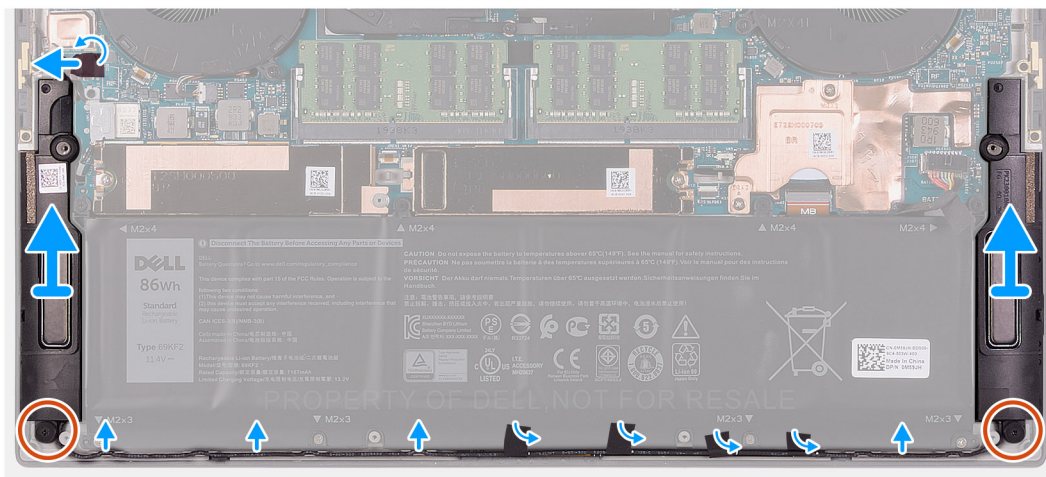
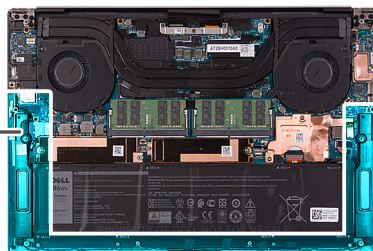
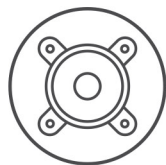
1. PC内部の作業を始める前この手順に従います。
2. ベースカバーを取り外します。

### このタスクについて

以下の画像はスピーカーの場所を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



2x  
M2x2



## 手順

1. テープをはがして、スピーカーケーブルをシステムボードから外します。
2. スピーカーケーブルをバッテリーに固定しているテープを剥がします。
3. スピーカーをパームレストとキーボードアセンブリーに固定している2本のネジ (M2x2) を外します。
4. スピーカーケーブルの配線をメモしてから、スピーカーケーブルをパームレストとキーボードアセンブリーの配線ガイドから外します。
5. スピーカーをケーブルと一緒に持ち上げて、パームレストとキーボードアセンブリーから取り外します。

# スピーカーの取り付け

## 前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

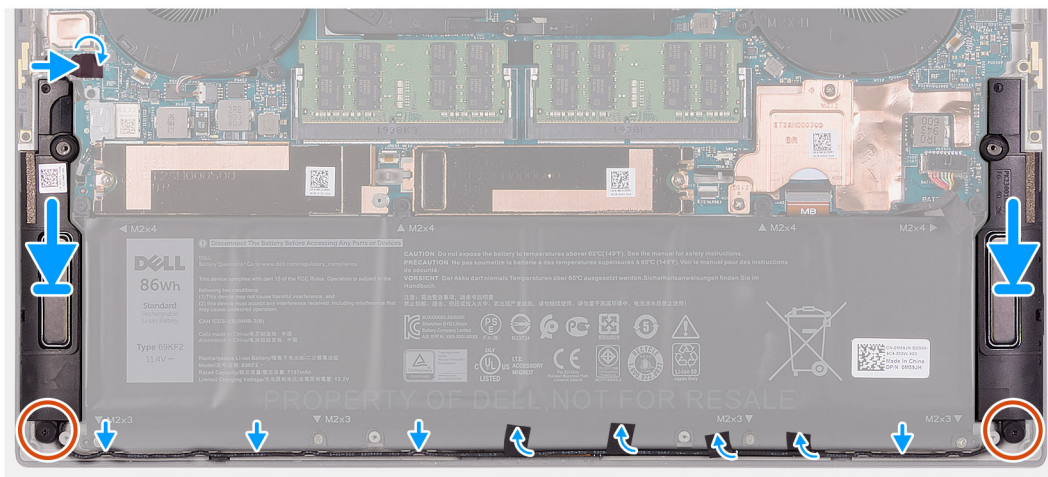
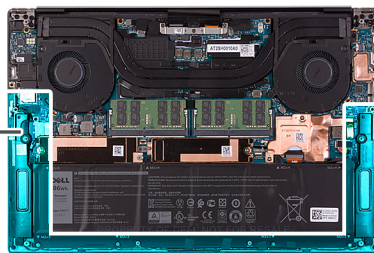
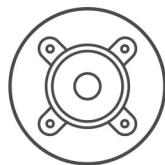
## このタスクについて

以下の画像はスピーカーの場所を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。





2x  
M2x2



## 手順

1. 位置合わせポストとゴム製グロメットを使用して、スピーカーをパームレストとキーボードアセンブリーのスロットにセットします。
2. スピーカーケーブルをパームレストとキーボードアセンブリーの配線ガイドに沿って配線します。
3. スピーカーケーブルをバッテリーに固定するテープを貼り付けます。
4. スピーカーをパームレストとキーボードアセンブリーに固定する2本のネジ (M2x2) を取り付けます。
5. スピーカーケーブルをシステムボードに接続し、スピーカーケーブルをシステムボードに固定するテープを貼り付けます。

## 次の手順

1. ベースカバーを取り付けます。
2. PC内部の作業を終えた後にこの手順に従います。

# I/O ボード

## I/O ボードの取り外し

### 前提条件

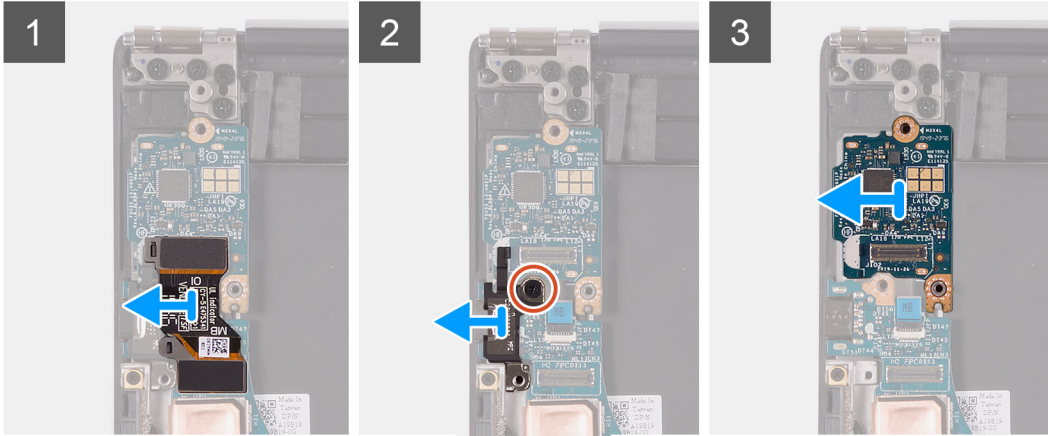
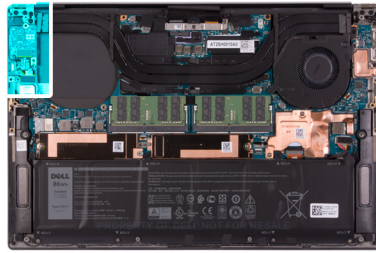
1. PC内部の作業を始める前にこの手順に従います。
2. ベースカバーを取り外します。
3. 右側のファンを取り外します。

### このタスクについて

以下の画像はI/Oボードの場所を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



1x  
M2x4



#### 手順

1. I/O ボードケーブルをシステム ボードと I/O ボードから外します。
2. I/O ボード ケーブルをシステム ボードから持ち上げます。
3. USB Type-C ポート ブラケットをシステム ボードに固定しているネジ (M2x4) を外し、USB Type-C ポート ブラケットを持ち上げて I/O ボードから取り外します。
4. I/O ボードを持ち上げて、パームレストとキーボード アセンブリーから取り外します。

## I/O ボードの取り付け

#### 前提条件

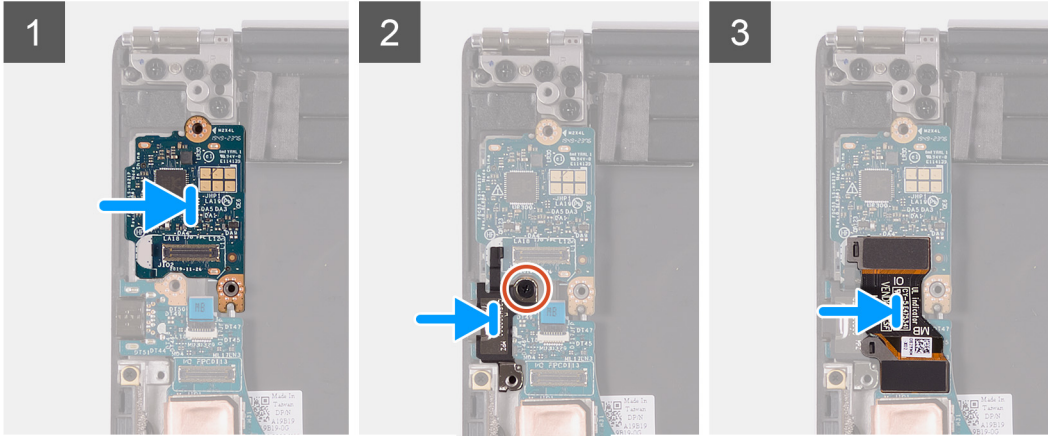
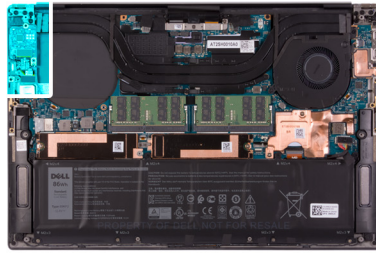
コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

#### このタスクについて

以下の画像は I/O ボードの場所を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



1x  
M2x4



## 手順

1. I/O ボードをパームレストとキーボード アセンブリーにセットします。
2. USB Type-C ポート ブラケットのネジ穴をシステム ボードのネジ穴に合わせます。
3. USB Type-C ポート ブラケットをシステム ボードに固定するネジ (M2x4) を取り付けます。

**ⓘ** **メモ:** I/O ボード ケーブルの IO マークが付いた側を I/O ドーター ボードに接続し、MB のマークが付いた側をシステム ボードに接続していることを確認します。

4. I/O ボード ケーブルをシステム ボードと I/O ボードのコネクターに接続します。

## 次の手順

1. 右側のファンを取り付けます。
2. ベースカバーを取り付けます。
3. PC 内部の作業を終えた後にの手順に従います。

# ディスプレイアセンブリ

## ディスプレイアセンブリーの取り外し

### 前提条件

1. PC 内部の作業を始める前にの手順に従います。
2. ベースカバーを取り外します。

### このタスクについて

次の画像はディスプレイアセンブリーケーブルとディスプレイアセンブリーヒンジの位置を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



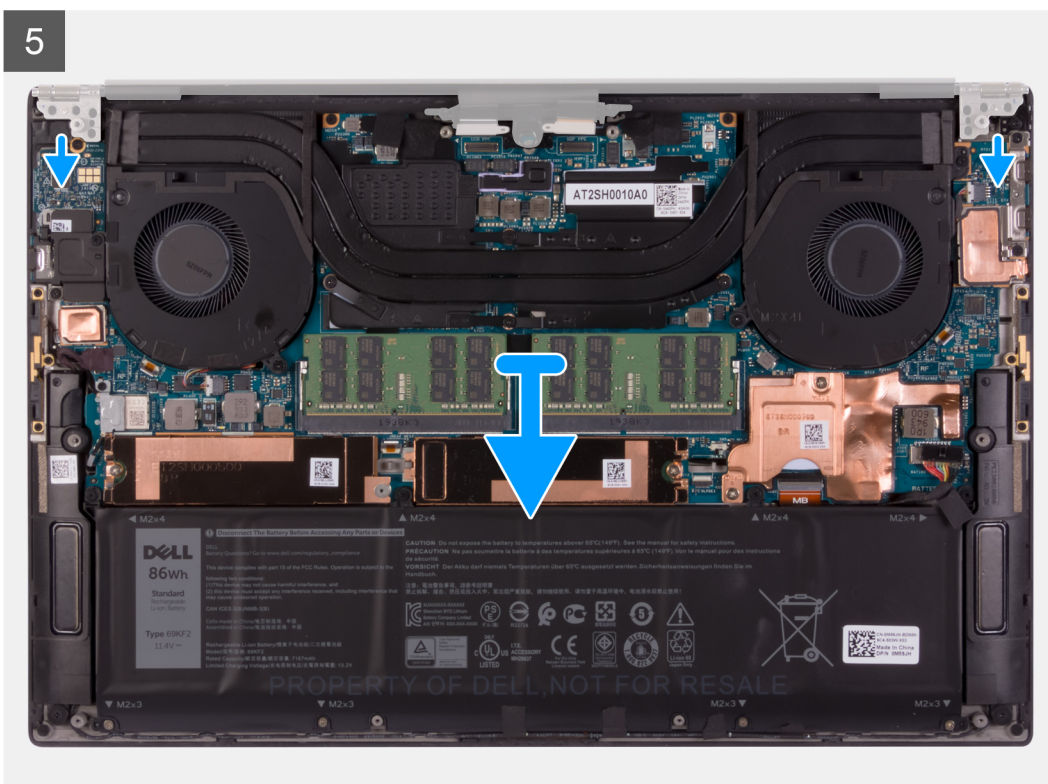
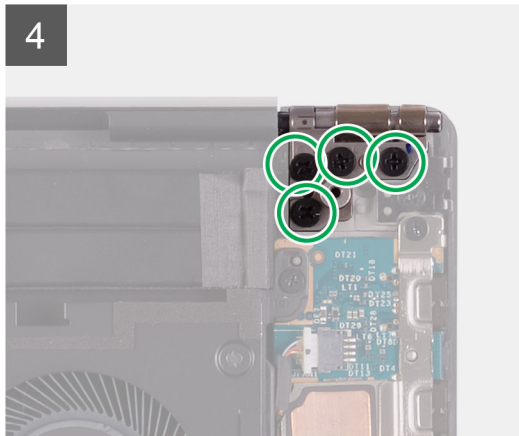
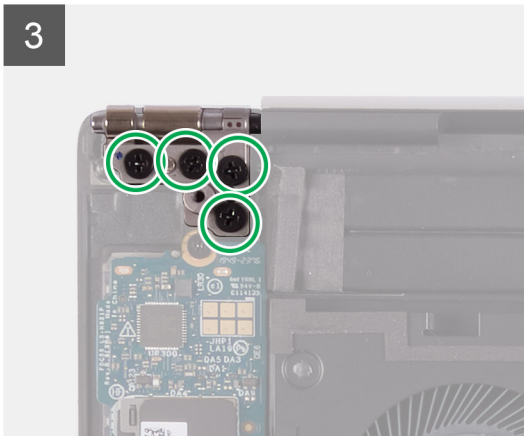
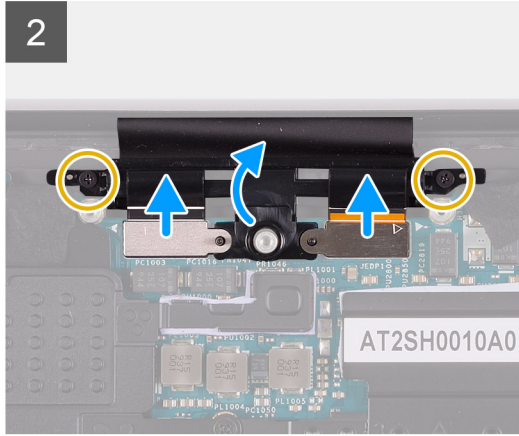
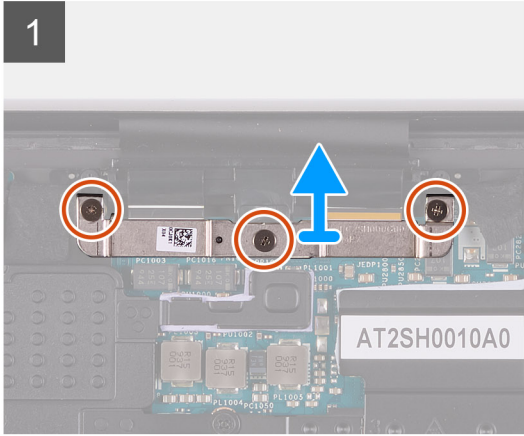
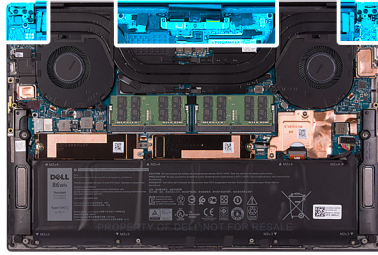
3x



2x  
M1.6x3



8x  
M2.5x5.5



## 手順

1. ディスプレイアセンブリー ケーブル ブラケットをシステム ボードに固定している3本の拘束ネジを緩めます。
2. ディスプレイアセンブリー ケーブル ブラケットを持ち上げ、システム ボードから取り外します。
3. ディスプレイアセンブリー ケーブル ホルダーをパームレストとキーボード アセンブリーに固定している2本のネジ ( M1.6x3 ) を外します。
4. タッチスクリーン ケーブルとカメラ ケーブルを外します。
5. 左右のディスプレイアセンブリー ヒンジをシステム ボード、パームレスト、およびキーボード アセンブリーに固定している8本のネジ ( M2.5x5.5 ) を外します。
6. パームレストとキーボード アセンブリーをディスプレイ アセンブリーからスライドさせます。
7. 前述の手順をすべて実行すると、ディスプレイ アセンブリーが残ります。



## ディスプレイアセンブリーの取り付け

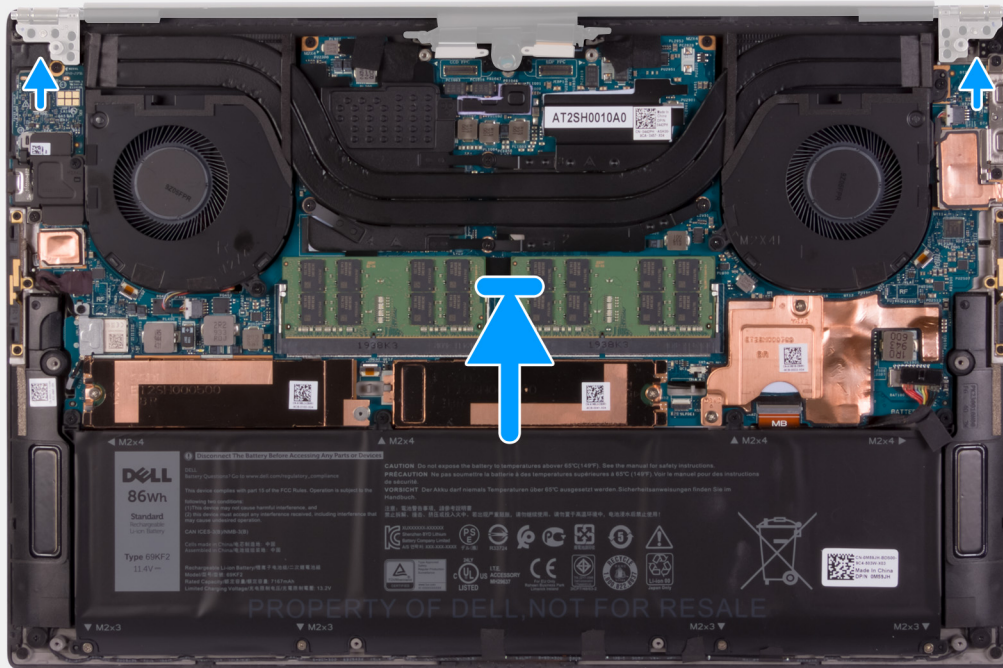
### 前提条件

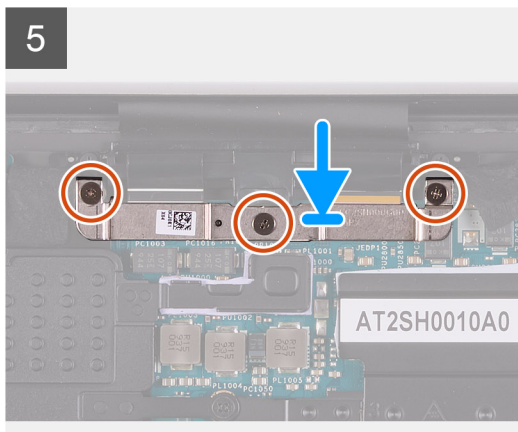
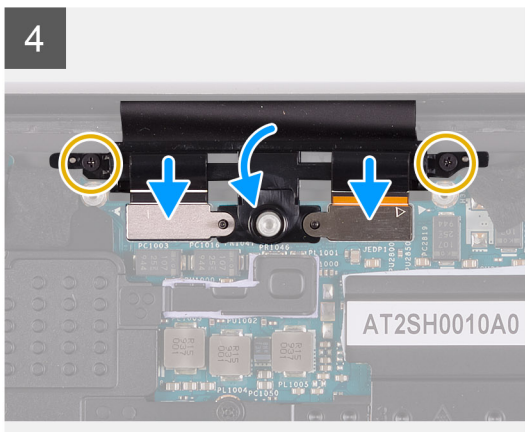
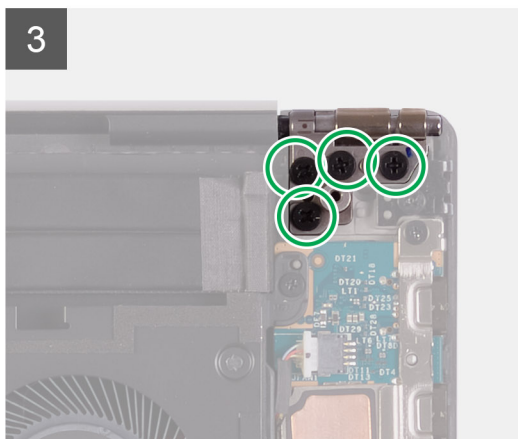
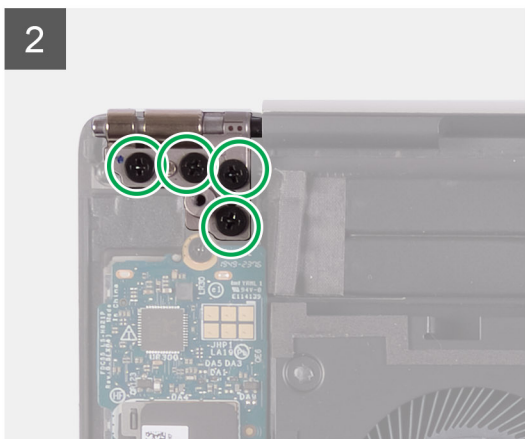
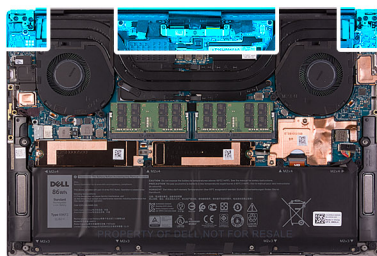
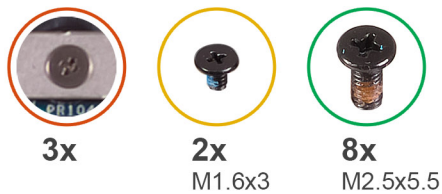
コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

### このタスクについて

次の画像はディスプレイアセンブリー ケーブルとディスプレイアセンブリー ヒンジの位置を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。

1





## 手順

1. パームレストとキーボード アセンブリーをディスプレイアセンブリーのヒンジの下にスライドさせます。
2. パームレスト アセンブリーのネジ穴を、左右のディスプレイアセンブリーヒンジのネジ穴に合わせます。
3. 左のヒンジをシステム ボード、パームレスト、およびキーボード アセンブリーに固定する 4 本のネジ ( M2.5x5.5 ) を取り付けます。
4. 右のヒンジをシステム ボード、パームレスト、およびキーボード アセンブリーに固定する 4 本のネジ ( M2.5x5.5 ) を取り付けます。
5. ディスプレイアセンブリー ケーブル ホルダーのネジ穴をパームレストとキーボード アセンブリーのネジ穴に合わせます。
6. タッチスクリーン ケーブルとカメラ ケーブルをディスプレイアセンブリー ケーブルに接続します。
7. ディスプレイアセンブリー ケーブル ホルダーをパームレストとキーボード アセンブリーに固定する 2 本のネジ ( M1.6x3 ) を取り付けます。

**ⓘ メモ:** ネジ山の損傷を防ぐため、2 本のネジ ( M1.6x3 ) を固定する際にはゆっくりと回転させてください。

8. ディスプレイアセンブリー ケーブル ブラケットのネジ穴を、システム ボードのネジ穴に合わせます。
9. ディスプレイアセンブリー ケーブル ブラケットをシステム ボードに固定する 3 本の拘束ネジを締めます。

## 次の手順

1. ベースカバーを取り付けます。
2. PC 内部の作業を終えた後にの手順に従います。

# システムボード

## システムボードの取り外し

### 前提条件

1. PC 内部の作業を始める前にの手順に従います。

**①** **メモ:** システムボードからケーブルを外す前に、各コネクタの位置をメモしておき、システムボードの取り付け後に正しく元の場所に戻すことができるようにしてください。

**①** **メモ:** PC のサービス タグはシステムボードに保存されています。システムボードを取り付けた後に、BIOS セットアッププログラムにサービス タグを入力します。

**①** **メモ:** システムボードを取り付けると、BIOS セットアッププログラムを使用して BIOS に行った変更がすべて削除されます。システムボードを取り付けた後に、適切な変更を再度行います。

**①** **メモ:** PC が再アセンブリーされ電源がオンになると、リアルタイムクロック (RTC) をリセットするよう求められます。RTC リセット サイクルが発生すると、PC が数回再起動し、「時刻が設定されていません」というエラーメッセージが表示されます。このエラーが表示された場合は、BIOS を入力して通常の機能を再開するために PC の日付と時刻を設定します。

2. ベースカバーを取り外します。

3. バッテリーを取り外します。

4. スピーカーを取り外します。

5. メモリーを取り外します。

6. ソリッドステートドライブ 1 を取り外します

7. ソリッドステートドライブ 2 を取り外します

8. ヒートシンクを取り外します。

**①** **メモ:** システムボードは、取り付けられているヒートシンクと一緒に取り外したり取り付けたりすることができます。これにより、手順が簡素化され、システムボードとヒートシンクの間の熱ボン드가壊れるのを防止できます。

9. 左側のファンを取り外します。

10. 右側のファンを取り外します。

11. I/O ボードを取り外します。

### このタスクについて

次のイメージは、システムボードのコネクタを示しています。

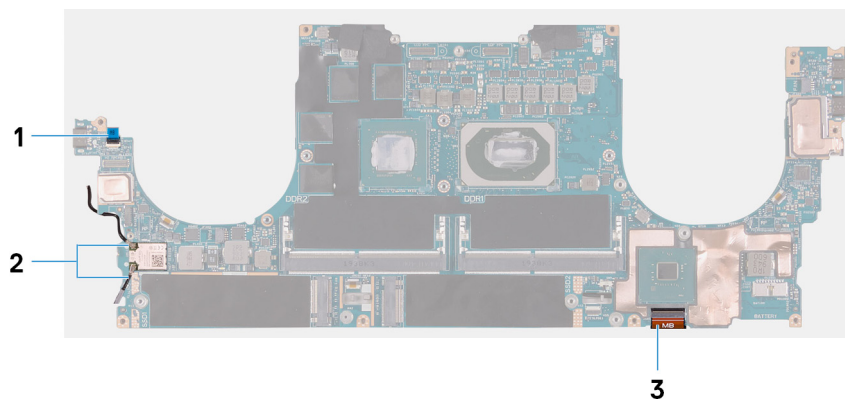


図 1. システムボードのコネクタ

1. 指紋認証リーダーボード ケーブル

2. アンテナ ケーブル

3. キーボードコントロールボード ケーブル

次の画像はシステムボードの位置を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。





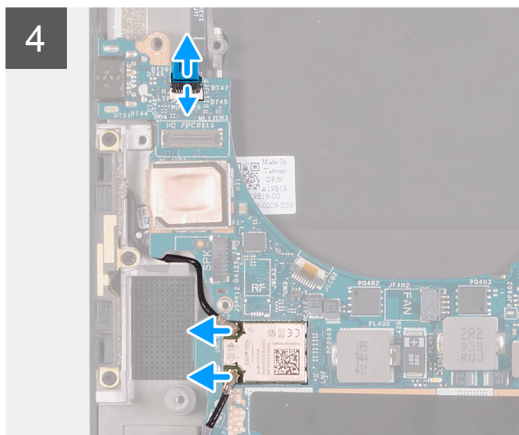
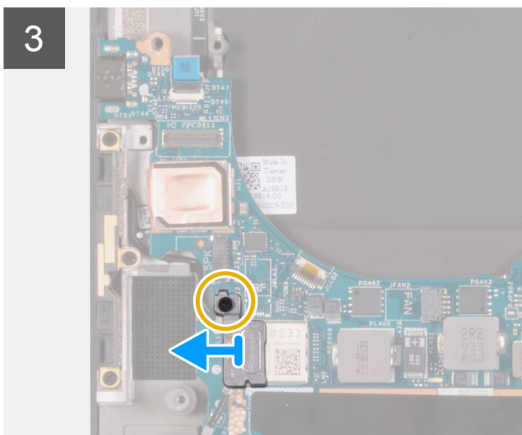
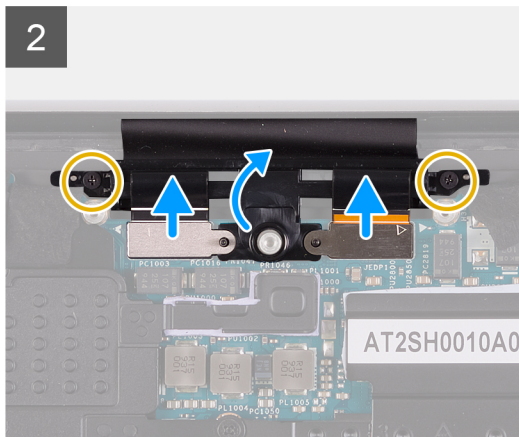
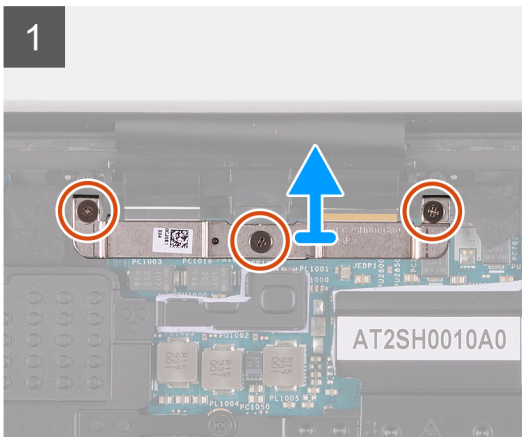
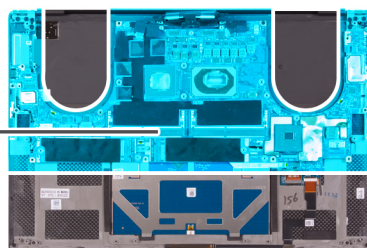
3x

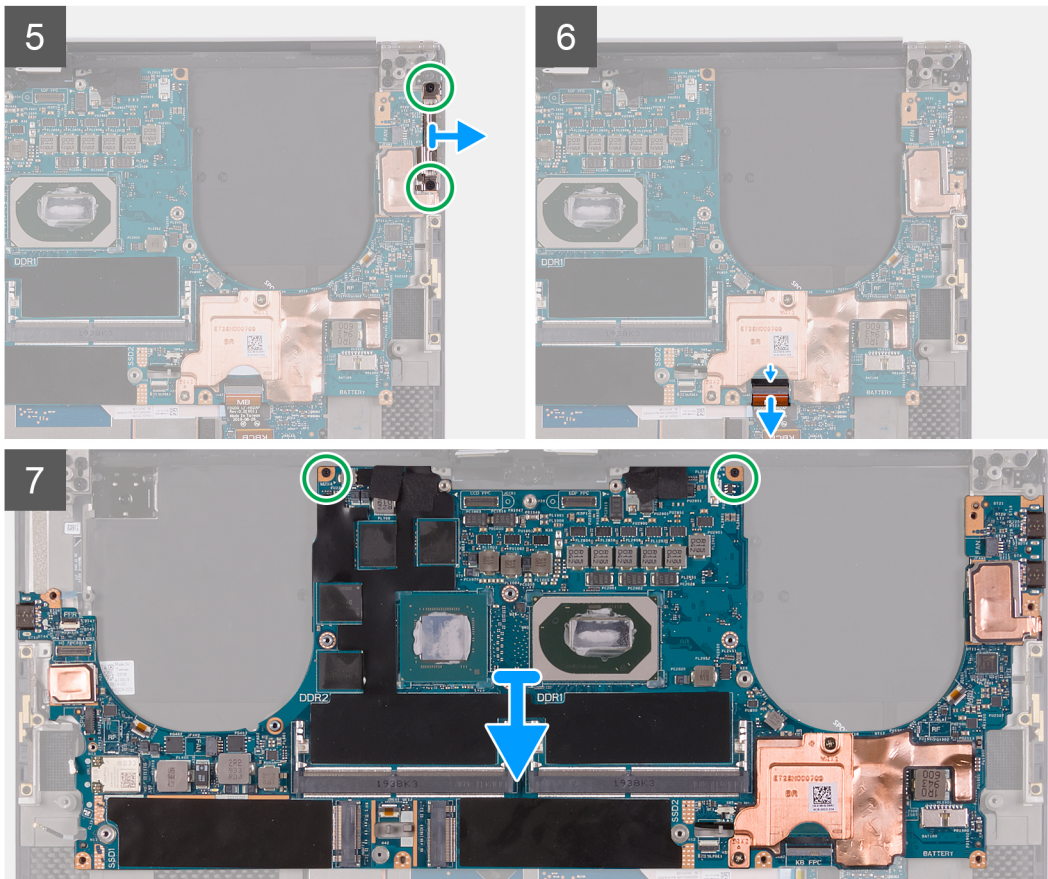


3x  
M1.6x3



4x  
M2x4





## 手順

1. ディスプレイアセンブリーケーブルブラケットをシステムボードに固定している3本の拘束ネジを緩めます。
2. ディスプレイアセンブリーケーブルブラケットを持ち上げ、システムボードから取り外します。
3. ディスプレイアセンブリーケーブルホルダーをパームレストとキーボードアセンブリーに固定している2本のネジ (M1.6x3) を外します。
4. タッチスクリーンケーブルとカメラケーブルを外します。
5. ワイヤレスカードブラケットをシステムボードに固定しているネジ (M1.6x3) を外します。
6. プラスチックスクライブを使用して、アンテナケーブルをワイヤレスカードから外します。
7. ラッチを開いて、指紋認証リーダーボードケーブルをシステムボードから外します。
8. USB Type-C ブラケットをパームレストとキーボードアセンブリーに固定している2本のネジ (M2x4) を外します。
9. USB Type-C ブラケットを、パームレストとキーボードアセンブリーから持ち上げます。
10. ラッチを開いて、キーボードコントロールボードケーブルをシステムボードから外します。
11. システムボードをパームレストとキーボードアセンブリーに固定している2本のネジ (M2x4) を外します。
12. システムボードを持ち上げてパームレストとキーボードアセンブリーから取り外します。

## システムボードの取り付け

### 前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

- ① **メモ:** PC のサービス タグはシステムボードに保存されています。システムボードを取り付けた後に、BIOS セットアッププログラムにサービス タグを入力します。
- ① **メモ:** システムボードを取り付けると、BIOS セットアッププログラムを使用して BIOS に行った変更がすべて削除されます。システムボードを取り付けた後に、適切な変更を再度行います。
- ① **メモ:** システムボードを取り付けると、BIOS セットアッププログラムを使用して BIOS に行った変更がすべて削除されます。システムボードを取り付けた後に、適切な変更を再度行います。PC が再アセンブリーされ電源がオンになると、リアルタイム

ムクロック (RTC) をリセットするよう求められます。RTC リセット サイクルが発生すると、PC が数回再起動し、「時刻が設定されていません」というエラーメッセージが表示されます。このエラーが表示された場合は、BIOS を入力して通常の機能を再開するために PC の日付と時刻を設定します。

このタスクについて

次のイメージは、システム ボードのコネクタを示しています。

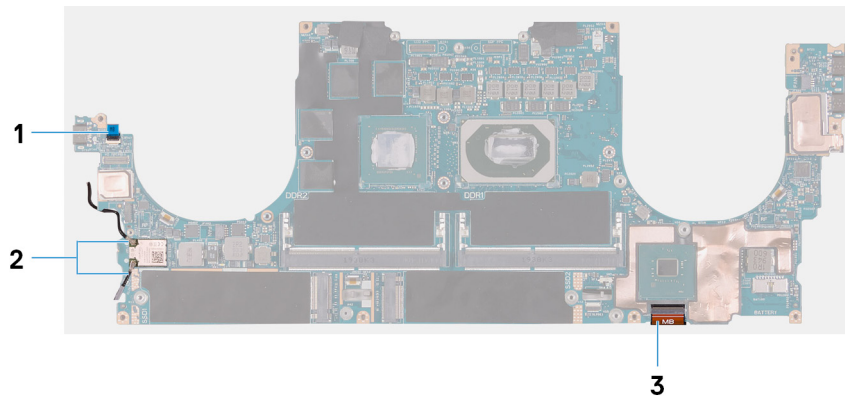
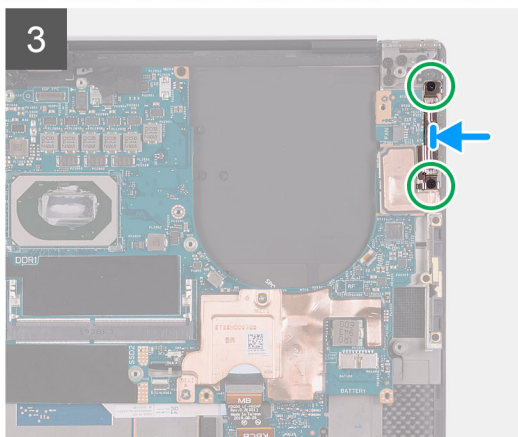
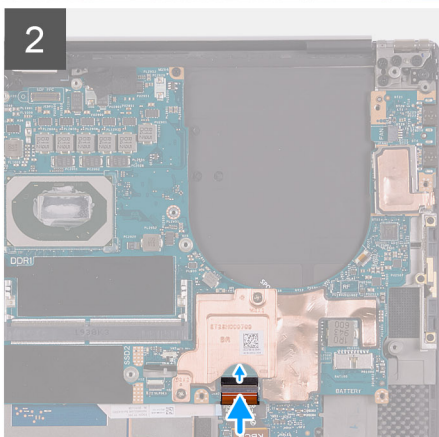
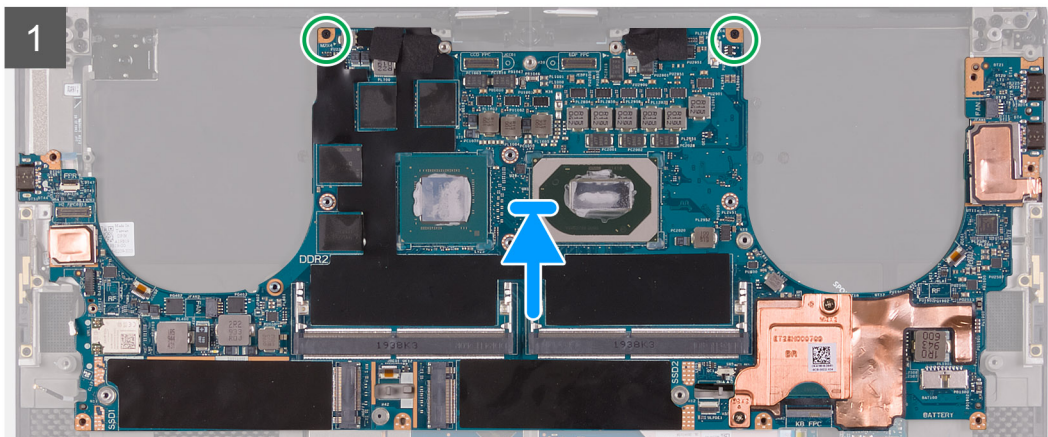
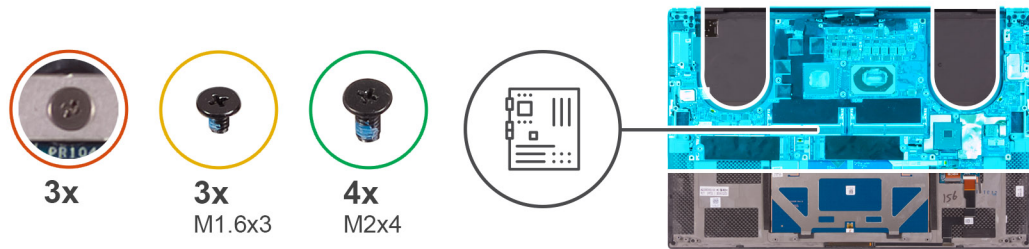
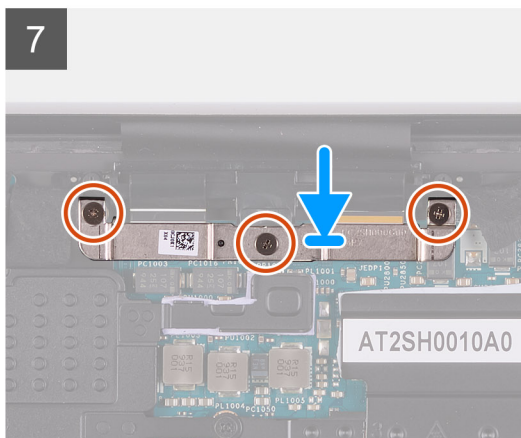
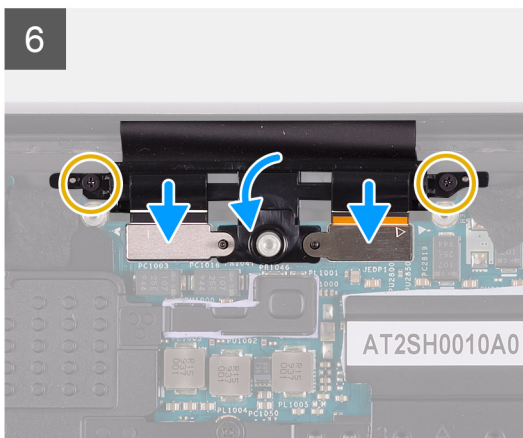
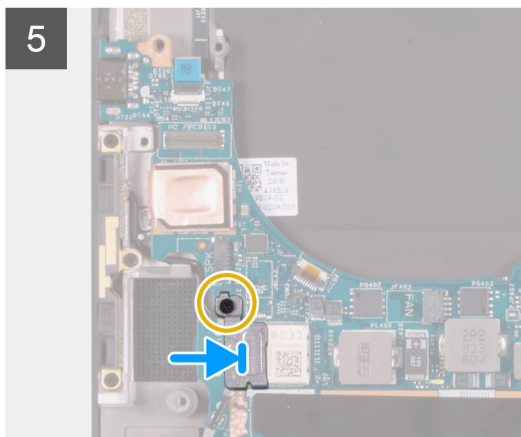
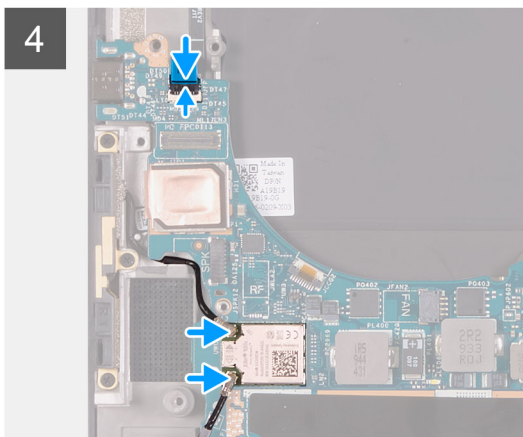


図 2. システム ボードのコネクタ

1. 指紋認証リーダーボード ケーブル
2. アンテナ ケーブル
3. キーボード コントロールボード ケーブル

次の画像は、システム ボードの位置を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。





## 手順

1. システム ボードのネジ穴をパームレストとキーボード アセンブリーのネジ穴に合わせます。
2. システム ボードをパームレストとキーボード アセンブリーに固定する 2 本のネジ ( M2x4 ) を取り付けます。
3. キーボードコントロール ボード ケーブルをシステム ボードに接続し、ラッチを閉じてケーブルを固定します。
4. Type-C ブラケットのネジ穴をパームレストとキーボード アセンブリーのネジ穴に合わせます。
5. Type-C ブラケットをパームレストとキーボード アセンブリーに固定する 2 本のネジ ( M2x4 ) を取り付けます。
6. 指紋認証リーダーボード ケーブルをシステム ボードに接続し、ラッチを閉じてケーブルを固定します。
7. 右側のスピーカー ケーブルをシステム ボードに接続します。
8. キーボード ケーブルをシステム ボードに接続し、ラッチを閉じてケーブルを固定します。
9. アンテナケーブルをワイヤレスカードに接続します。
10. ワイヤレスカードブラケットのネジ穴をシステム ボードのネジ穴に合わせます。
11. ワイヤレスカード ブラケットをシステム ボードに固定するネジ ( M1.6x3 ) を取り付けます。
12. タッチスクリーン ケーブルとカメラ ケーブルを、ディスプレイアセンブリー ケーブルに接続します。
13. ディスプレイアセンブリー ケーブルホルダーをパームレストとキーボード アセンブリーに固定する 2 本のネジ ( M1.6x3 ) を取り付けます。
14. タッチスクリーン ケーブルとカメラ ケーブルを、ディスプレイアセンブリー ケーブルに接続します。
15. ディスプレイアセンブリー ケーブル ブラケットのネジ穴を、システム ボードのネジ穴に合わせます。
16. ディスプレイアセンブリー ケーブル ブラケットをシステム ボードに固定する 3 本の拘束ネジを締めます。

## 次の手順

1. I/O ボードを取り付けます。
2. 右側のファンを取り付けます。
3. 左側のファンを取り付けます。
4. ヒートシンクを取り付けます。
5. ソリッドステートドライブ 2 を取り付けます。
6. ソリッドステートドライブ 1 を取り付けます。
7. メモリーを取り付けます。
8. バッテリーを取り付けます。

9. スピーカーを取り付けます。
10. ベースカバーを取り付けます。
11. PC 内部の作業を終えた後にの手順に従います。

## パームレストとキーボードアセンブリ

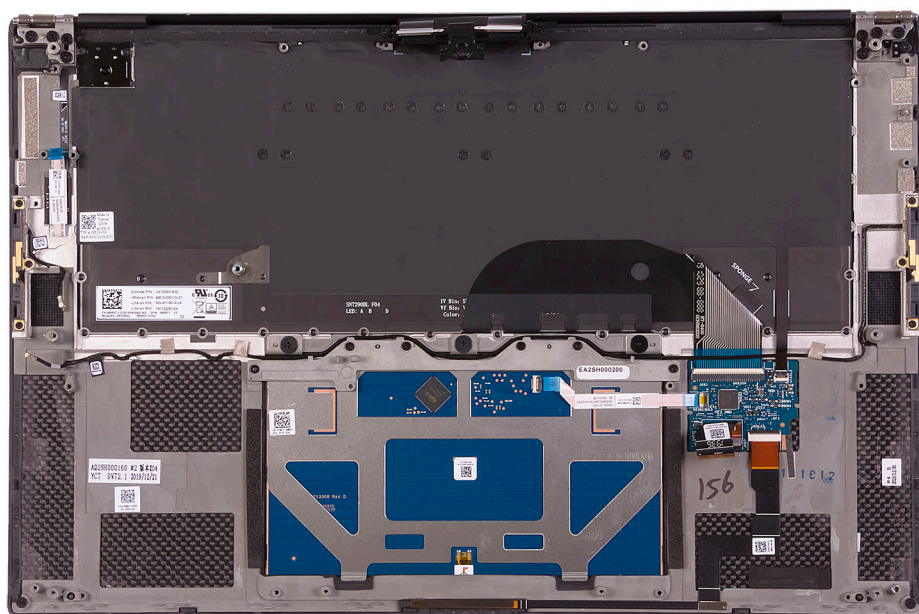
### パームレストとキーボードアセンブリの取り外し

#### 前提条件

1. PC 内部の作業を始める前にの手順に従います。
2. ベースカバーを取り外します。
3. バッテリーを取り外します。
4. スピーカーを取り外します。
5. メモリーを取り外します。
6. ソリッドステートドライブ1を取り外します
7. ソリッドステートドライブ2を取り外します
8. ヒートシンクを取り外します。  
**①** **メモ:** システムボードは、取り付けられているヒートシンクと一緒に取り外したり取り付けたりすることができます。これにより、手順が簡素化され、システムボードとヒートシンクの間熱ボンドが壊れるのを防止できます。
9. 右側のファンを取り外します。
10. 左側のファンを取り外します。
11. オーディオドーターボードを取り外します。
12. ディスプレイアセンブリを取り外します。
13. システムボードを取り外します。

#### このタスクについて

前提条件をすべて実行してから、パームレストとキーボードアセンブリを取り外します。



「前提条件」の手順を実行すると、パームレストとキーボードアセンブリが残ります。

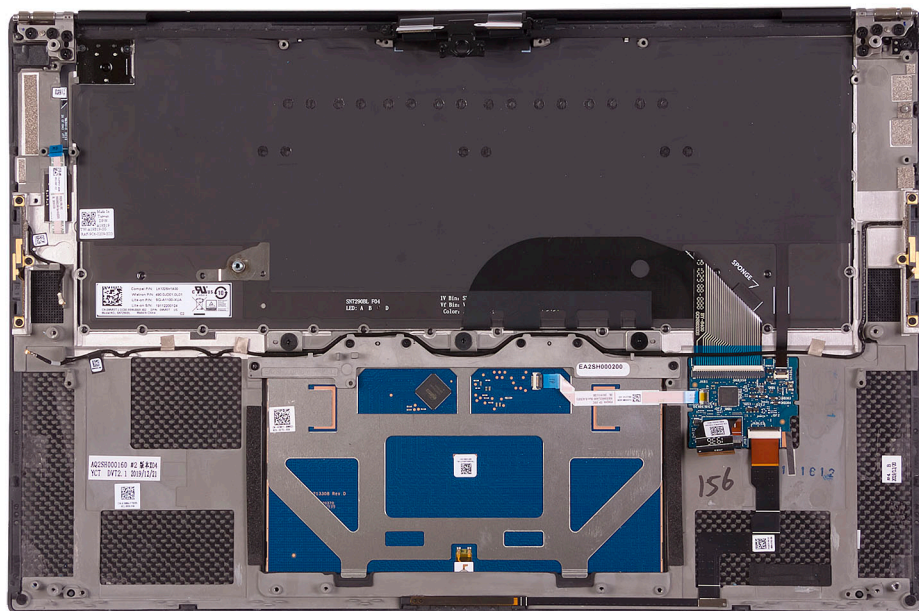
# パームレストとキーボードアセンブリーの取り付け

## 前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

## このタスクについて

次の図は、パームレストとキーボードアセンブリーの場所を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



## 手順

パームレストとキーボードアセンブリーを平らな面に置きます。

## 次の手順

1. システムボードを取り付けます。
2. ディスプレイアセンブリーを取り付けます。
3. オーディオドーターボードを取り付けます。
4. 左側のファンを取り付けます。
5. 右側のファンを取り付けます。
6. ヒートシンクを取り付けます。
7. ソリッドステートドライブ2を取り付けます。
8. ソリッドステートドライブ1を取り付けます。
9. メモリーを取り付けます。
10. バッテリーを取り付けます。
11. スピーカーを取り付けます。
12. ベースカバーを取り付けます。
13. PC内部の作業を終えた後にこの手順に従います。

## ドライバおよびダウンロード

ドライバのトラブルシューティング、ダウンロードまたはインストールを行うときには、Dell ナレッジベースの記事「ドライバおよびダウンロードに関するよくあるお問い合わせ」([SLN128938](#))を読むことが推奨されます。



## システム セットアップ

**注意:** PC に詳しいユーザー以外は、BIOS セットアップ プログラムの設定を変更しないでください。特定の変更で PC が誤作動を起こす可能性があります。

**メモ:** PC および取り付けられているデバイスによっては、本項にリスト表示されている項目の一部がない場合があります。

**メモ:** BIOS セットアップ プログラムを変更する前に、後で参照できるように、BIOS セットアップ プログラム画面の情報を控えておくことをお勧めします。

BIOS セットアップ プログラムは次の目的で使用します。

- RAM の容量やハード ドライブのサイズなど、PC に取り付けられているハードウェアに関する情報の取得。
- システム設定情報の変更。
- ユーザー パスワード、取り付けられたハード ドライブの種類、基本デバイスの有効化または無効化など、ユーザー選択可能オプションの設定または変更。

## BIOS セットアッププログラムの起動

このタスクについて

コンピューターの電源を入れて (または再起動して)、すぐに F2 を押します。

## ナビゲーションキー

**メモ:** ほとんどのセットアップユーティリティオプションで、変更内容は記録されますが、システムを再起動するまでは有効になりません。

表 2. ナビゲーションキー

キー	ナビゲーション
上矢印	前のフィールドに移動します。
下矢印	次のフィールドへ移動します。
入力	選択したフィールドの値を選択するか (該当する場合)、フィールド内のリンクに移動します。
スペースバー	ドロップダウンリストがある場合は、展開したり折りたたんだりします。
タブ	次のフォーカス対象領域に移動します。 <b>メモ:</b> 標準グラフィックブラウザー用に限られます。
Esc	メイン画面が表示されるまで、前のページに戻ります。メイン画面で Esc を押すと、未保存の変更の保存を促すメッセージが表示され、システムが再起動します。

## ブート シーケンス

ブート シーケンスを利用すると、セットアップユーティリティで定義されたデバイス起動順序をバイパスし、特定のデバイス (例: 光学ドライブまたはハード ドライブ) から直接起動することができます。電源投入時の自己テスト (POST) 中に Dell のロゴが表示されたら、以下が可能になります。

- F2 キーを押してセットアップ ユーティリティにアクセスする

- ・ F12 キーを押して1回限りの起動メニューを立ち上げる

ワンタイム ブート メニューでは診断オプションを含むオプションから起動可能なデバイスを表示します。起動メニューのオプションは以下のとおりです。

- ・ リムーバブルドライブ(利用可能な場合)
- ・ STXXXX ドライブ ( 利用可能な場合 )
- ・ **i** | **メモ: XXX** は、SATA ドライブの番号を意味します。
- ・ 光学ドライブ ( 利用可能な場合 )
- ・ SATA ハード ドライブ ( 利用可能な場合 )
- ・ 診断

ブート シーケンス画面ではセットアップ画面にアクセスするオプションを表示することも可能です。

## ワンタイムブートメニュー

ワンタイムブートメニューを入力するには、PCの電源を入れて、すぐにF2を押します。

- ・ **i** | **メモ: PC** がオンになっている場合は、シャットダウンすることをお勧めします。

ワンタイムブートメニューでは診断オプションを含むオプションから起動可能なデバイスを表示します。起動メニューのオプションは以下のとおりです。

- ・ リムーバブルドライブ(利用可能な場合)
- ・ STXXXX ドライブ ( 利用可能な場合 )
- ・ **i** | **メモ: XXX** は、SATA ドライブの番号を意味します。
- ・ 光学ドライブ ( 利用可能な場合 )
- ・ SATA ハード ドライブ ( 利用可能な場合 )
- ・ 診断

ブート シーケンス画面ではシステム セットアップ画面にアクセスするオプションを表示することも可能です。

## システムセットアップのオプション

- ・ **i** | **メモ: PC** および取り付けられているデバイスによっては、本項に一覧表示されている項目の一部がない場合があります。

表3. システムセットアップユーティリティのオプション — システム情報メニュー

概要	
<b>XPS 15 9500</b>	
BIOS バージョン	BIOS のバージョン番号を表示します。
サービス タグ	Pc のサービス タグを表示します
Asset Tag	PC の Asset Tag を表示します。
製造日	PC の製造日を表示します。
購入日	PC の購入日を表示します。
エクスプレス サービス コード	PC のエクスプレス サービス コードを表示します。
所有者タグ	PC の所有者タグを表示します。
署名されたファームウェア アップデート	署名されたファームウェア アップデートが有効かどうかが表示されます。 デフォルト : Enabled
バッテリー	バッテリーの状態に関する情報を表示します。
プライマリ (システム) パスワード	プライマリ バッテリーが表示されます。
バッテリー レベル	バッテリー レベルが表示されます。
バッテリー状態	バッテリー状態が表示されます。
正常性	バッテリーの状態を表示します。

表 3. システム セットアップ ユーティリティのオプション — システム情報メニュー ( 続き )

概要	
AC アダプター	AC アダプターが接続されているかが表示されます。接続されている場合は、AC アダプターのタイプが表示されます。
<b>プロセッサ</b>	
プロセッサのタイプ	プロセッサの種類を表示します。
最大クロック スピード	プロセッサの最高クロック スピードを表示します。
最小クロック スピード	プロセッサの最低クロック スピードを表示します。
現在のクロック スピード	プロセッサの現在のクロック スピードを表示します。
コア数	プロセッサのコアの数を表示します。
プロセッサ ID	プロセッサの識別コードを表示します。
Processor L2 のキャッシュ	プロセッサの L2 キャッシュサイズを表示します。
Processor L3 のキャッシュ	プロセッサの L3 キャッシュサイズを表示します。
マイクロコードのバージョン	マイクロコード バージョンを表示します。
インテル ハイパースレッディング対応	プロセッサがハイパースレッディング ( HT ) に対応しているかどうかを表示します。
64 ビット テクノロジー	64 ビットテクノロジーが使用されているかどうかを表示します。
<b>メモリー</b>	
インストールされたメモリー	インストールされている PC メモリーの合計を表示します。
使用可能なメモリー	使用可能な PC メモリーの合計を表示します。
メモリー スピード	メモリー スピードを表示します。
メモリー チャネル モード	シングルまたはデュアル チャネルモードを表示します。
メモリー テクノロジー	メモリーに使用されているテクノロジーを表示します。
DIMM スロット 1	スロット 1 に取り付けられているメモリー カードを表示します。
DIMM スロット 2	スロット 2 に取り付けられているメモリー カードを表示します。
<b>デバイス</b>	
パネルのタイプ	PC のパネルのタイプを表示します。
ビデオ コントローラー	PC の内蔵グラフィックスの情報を表示します。
ビデオ メモリー	PC のビデオメモリー情報を表示します。
Wi-Fi デバイス	PC に取り付けられている Wi-Fi デバイスを表示します。
ネイティブ解像度	PC のネイティブ解像度を表示します。
ビデオ BIOS バージョン	PC のビデオ BIOS のバージョンを表示します。
オーディオ コントローラー	PC のオーディオコントローラー情報を表示します。
Bluetooth デバイス	Bluetooth デバイスが PC に取り付けられているかを表示します。
MAC アドレスのパス スルー	ビデオ パススルーの MAC アドレスを表示します。

表 4. システム セットアップ オプション — 起動オプション メニュー

起動オプション	
<b>Boot Mode ( 起動モード )</b>	
起動モード : UEFI のみ	この PC の起動モードを表示します。
ブート デバイスを有効にする	Windows Boot Manager および UEFI ハード ドライブを有効または無効にします。デフォルトでは、Windows Boot Manager が選択されています。

表 4. システム セットアップ オプション — 起動オプション メニュー ( 続き )

起動オプション	
ブート シーケンス	デフォルトでは、UEFI ハード ドライブが選択されています。 ブート シーケンスを表示します。
<b>詳細起動オプション</b>	
UEFI ネットワーク スタックを有効にする	UEFI ネットワーク スタックを有効または無効にします。 デフォルト：ON
<b>UEFI 起動パス セキュリティ</b>	F12 起動メニューから UEFI 起動パスを起動するときに、ユーザーに管理者パスワードの入力を求めるプロンプトを有効または無効にします。 デフォルト：Always Except Internal HDD

表 5. システムセットアップユーティリティのオプション — システム設定メニュー

システム設定	
<b>日付/時刻</b>	
日付	PC の日付を MM/DD/YYYY 形式で設定します。日付の変更はすぐに反映されません。
時刻	PC の時間を HH/MM/SS の 24 時間形式で設定します。12 時間クロックと 24 時間クロックを切り替えることができます。時間の変更はすぐに反映されます。
<b>ストレージ インターフェイス</b>	
ポートの有効化	選択したオンボード ドライブを有効にします。 デフォルト：ON
<b>SATA の動作</b>	
	内蔵 SATA ハード ドライブ コントローラーの動作モードを設定します。 デフォルト：RAID オン。SATA は RAID ( インテル Rapid Restore テクノロジー ) をサポートするように設定されています。
<b>ドライブ情報</b>	
	各種オンボード ドライブの情報を表示します。
<b>Enable SMART Reporting ( SMART レポートを有効にする )</b>	Self-Monitoring, Analysis, and Reporting Technology ( SMART ) を有効または無効にします。 デフォルト：OFF
<b>Enable Audio ( オーディオを有効にする )</b>	すべての組み込み型オーディオ コントローラーを有効または無効にします。 デフォルト：ON
Enable Microphone ( マイクロフォンを有効にする )	マイクロフォンを有効または無効にします。 デフォルトでは、[ マイクロフォンを有効にする ] が選択されています。
Enable Internal Speaker( 内蔵スピーカーを有効にする )	内蔵スピーカーを有効または無効にします。 デフォルトでは、[ 内蔵スピーカーを有効にする ] が選択されています。
<b>USB 設定</b>	
	外部ハード ドライブ、光学ドライブ、USB ドライブのような USB 大容量ストレージ デバイスからの起動を有効または無効にします。 デフォルトでは、[ USB Boot Support を有効にする ] が選択されています。 デフォルトでは、[ 外部 USB ポートを有効にする ] が選択されています。
<b>Thunderbolt アダプターの設定</b>	
Thunderbolt テクノロジー サポートを有効にする	Thunderbolt テクノロジーのサポートを有効または無効にします。 デフォルト：ON
Thunderbolt の起動サポートを有効にする	Thunderbolt 起動サポートを有効または無効にします。 デフォルト：OFF

表 5. システムセットアップユーティリティのオプション — システム設定メニュー ( 続き )

システム設定	
Thunderbolt ( および TBT の背景にある PCIe ) のプリブート モジュールを有効化	<p>プリブート時に Thunderbolt アダプターを介して PCIe デバイスに接続することを許可または拒否できるよう、機能を有効または無効にします。</p> <p>デフォルト : OFF</p>
<b>各種デバイス</b>	<p>各種オンボード デバイスを有効または無効にします。</p>
カメラを有効にする	<p>カメラを有効または無効にします。</p> <p>デフォルトでは、[ カメラを有効にする ] が選択されています。</p>
タッチスクリーン	<p>タッチスクリーンを有効または無効にします。</p> <p>デフォルトでは、[ タッチスクリーン ] が選択されています。</p>
指紋認証リーダー デバイスを有効にする	<p>指紋認証リーダー デバイスを有効または無効にします。</p> <p>デフォルトでは、[ 指紋認証リーダー デバイスを有効にする ] が選択されています。</p>
メディアカードを有効にする	<p>すべてのメディア カードのオン/オフを切り替えたり、メディア カードを読み取り専用状態に設定したりすることができます。</p> <p>デフォルトでは、[ Enable Secure Digital (SD) Card ] が選択されています。</p>
キーボード ライト	<p>キーボード ライト機能の動作モードを設定します。</p> <p>デフォルト : Bright。キーボード ライト機能を 100% の輝度レベルで有効にします。</p>
<b>Keyboard Backlight Timeout on AC ( AC でのキーボードバックライトのタイムアウト )</b>	<p>AC アダプターが PC に接続されているときに、キーボードのタイムアウト値を設定します。キーボード バックライトのタイムアウト値は、バックライトが有効化されている場合にのみ有効です。</p> <p>デフォルト : 10 seconds</p>
<b>Keyboard Backlight Timeout on Battery ( バッテリーでのキーボード バックライトのタイムアウト )</b>	<p>PC がバッテリーで動作しているときに、キーボードのタイムアウト値を設定します。キーボード バックライトのタイムアウト値は、バックライトが有効化されている場合にのみ有効です。</p> <p>デフォルト : 10 seconds</p>

表 6. システムセットアップユーティリティのオプション — ビデオメニュー

ビデオ	
<b>LCD の明るさ</b>	
バッテリー電源での明るさ	<p>PC がバッテリー電源で動作しているときに、画面の輝度を設定します。</p> <p>デフォルト : 50</p>
AC 電源での明るさ	<p>PC が AC 電源で動作しているときに、画面の輝度を設定します。</p> <p>デフォルト : 100</p>

表 7. システムセットアップユーティリティのオプション — セキュリティメニュー

セキュリティ	
<b>Enable Admin Setup Lockout ( 管理者セットアップロックアウトを有効にする )</b>	<p>管理者パスワードが設定されている場合に、ユーザーによる BIOS セットアップの起動を有効または無効にします。</p> <p>デフォルト : OFF</p>
パスワードのスキップ	<p>システムの再起動中に、システム ( 起動 ) パスワードと内蔵ハード ドライブ パスワード入力のプロンプトをスキップすることができます。</p> <p>デフォルト : Disabled</p>

表 7. システム セットアップユーティリティのオプション — セキュリティ メニュー ( 続き )

セキュリティ	
管理者ではないパスワードによる変更を有効にする	管理者パスワードの必要なしで、ユーザーによるシステム パスワードとハードドライブ パスワードの変更を有効または無効にします。 デフォルト : ON
管理者ではないセットアップの変更	
UEFI カプセル ファームウェアのアップデートを有効にする	UEFI カプセル アップデート パッケージで BIOS アップデートを有効または無効にします。 デフォルト : ON
<b>Absolute</b>	オプションの Absolute Software 社製 Absolute Persistence Module サービスの BIOS モジュール インターフェイスを、有効化、無効化、恒久的な無効化のいずれかに設定することができます。 デフォルト : Enabled
<b>TPM 2.0 セキュリティ オン</b>	Trusted Platform Model ( TPM ) が OS で認識されるかどうかを選択します。 デフォルト : ON
有効なコマンドの PPI をスキップ	TPM PPI 有効化およびアクティブ化コマンドの発行時に、OS が BIOS の物理プレゼンス インターフェイス ( PPI ) ユーザー プロンプトをスキップすることを有効または無効にします。 デフォルト : OFF
無効なコマンドの PPI をスキップ	TPM PPI 無効化および非アクティブ化コマンドの発行時に、OS が BIOS の PPI ユーザー プロンプトをスキップすることを有効または無効にします。 デフォルト : OFF
クリア コマンドの PPI のスキップ	クリア コマンドの発行時に、オペレーティングシステムによる BIOS 物理プレゼンス インターフェイス ( PPI ) ユーザー プロンプトのスキップを有効または無効にします。 デフォルト : OFF
Attestation Enable( アテステーションを有効にする )	TPM エンドースメント階層を OS で使用できるかどうかを制御することができます。この設定を無効にすると、シグネチャ操作のために TPM を使用する機能を制限します。 デフォルト : ON
キー ストレージを有効にする	TPM エンドースメント階層を OS で使用できるかどうかを制御することができます。この設定を無効にすると、所有者データを保存するために TPM を使用する機能を制限します。 デフォルト : ON
SHA-256	BIOS の起動中に、BIOS と TPM が SHA-256 ハッシュアルゴリズムを使用して、測定を TPM PCR に拡張することを有効または無効にします。 デフォルト : ON
Clear ( クリア )	PC による PTT 所有者情報のクリアを有効または無効にし、PTT をデフォルトの状態に戻します。 デフォルト : OFF
TPM の状態	TPM を有効または無効にします。これは完全な機能のアレイを使用する場合の TPM の通常の動作状態です。 デフォルト : Enabled
<b>SMM セキュリティの緩和</b>	追加の UEFI SMM セキュリティ緩和の保護を有効または無効にします。 デフォルト : OFF

表 7. システム セットアップユーティリティのオプション — セキュリティ メニュー ( 続き )

セキュリティ	
Intel SGX	<p><b>① メモ:</b> この機能により、一部のレガシー ツールやアプリケーションで互換性の問題または機能の損失が発生する可能性があります。</p> <p>インテル Software Guard Extensions ( SGX ) によるコードの実行/機密情報の保存のための安全な環境の提供を有効または無効にします。</p> <p>デフォルト : Software Control</p>

表 8. システム セットアップ オプション — パスワード メニュー

パスワード	
強力なパスワードを有効にする	強力なパスワードを有効または無効にします。 デフォルト : OFF
<b>パスワードの設定</b>	
Admin Password Min ( 管理者パスワードの最小文字数 )	管理者パスワードに使用できる最小文字数を指定します。 デフォルト : 4
Admin Password Max ( 管理者パスワードの最大文字数 )	管理者パスワードに使用できる最大文字数を指定します。 デフォルト : 32
System Password Min ( システムパスワードの最小文字数 )	システムパスワードに使用できる最小文字数を指定します。 デフォルト : 4
System Password Max ( システムパスワードの最大文字数 )	システムパスワードに使用できる最大文字数を指定します。 デフォルト : 32
管理者パスワード	管理者 ( admin ) パスワード ( 「セットアップ」パスワードと呼ばれる場合もある ) を設定、変更、または削除します。
システムパスワード	システムパスワードを設定、変更、または削除します。
マスターパスワードのロックアウトを有効にする	マスターパスワードサポートを有効または無効にします。 デフォルト : OFF

表 9. システム セットアップユーティリティのオプション — セキュア ブート メニュー

セキュア ブート	
セキュア ブートを有効にする	検証済みの起動ソフトウェアのみを使用した PC の起動を有効または無効にします。 デフォルト : ON
	<p><b>① メモ:</b> [ セキュア ブート ] を有効にする必要がある PC は、UEFI 起動モードである必要があり、[ レガシー オプション ROM を有効にする ] オプションをオフにする必要があります。</p>
セキュア ブート モード	[ セキュア ブート ] 動作モードを選択します。 デフォルト : Deployed Mode
	<p><b>① メモ:</b> [ セキュア ブート ] の通常の実行を行うには、[ デプロイドモード ] を選択する必要があります。</p>

表 10. システム セットアップ オプション — エキスパート キー管理メニュー

エキスパートキー管理	
カスタムモードを有効にする	変更する PK、KEK、db、dbx のセキュリティ キー データベースのキーを有効または無効にします。

表 10. システム セットアップ オプション — エキスパート キー管理メニュー ( 続き )

エキスパートキー管理	
	デフォルト : OFF
カスタム モード キー管理	エキスパート キー管理用にカスタム値を選択します。 デフォルト : PK

表 11. システム セットアップ オプション — パフォーマンス メニュー

パフォーマンス	
マルチコア サポート	
アクティブなコア	オペレーティング システムで使用可能な CPU コアの数を変更します。デフォルト値は、コアの最大数に設定されています。 デフォルト : All Cores
インテル SpeedStep	
インテル SpeedStep テクノロジーを有効にする	インテル SpeedStep テクノロジーがプロセッサの電圧とコア周波数を動的に調整し、平均電力消費量と発熱量を削減する機能を有効または無効にします。 デフォルト : ON
C-State の制御を有効にする	低電力状態を開始して終了する CPU の機能を有効または無効にします。 デフォルト : ON
Intel ターボブーストテクノロジー	
インテル ターボ ブースト テクノロジーを有効にする	プロセッサのインテル TurboBoost モードを有効または無効にします。有効な場合、インテル TurboBoost ドライバーは、CPU またはグラフィックス プロセッサのパフォーマンスを向上させます。 デフォルト : ON
インテル ハイパースレディング テクノロジー	
インテル ハイパースレディング テクノロジーを有効にする	プロセッサのインテル ハイパースレディング モードを有効または無効にします。有効にすると、複数のスレッドが各コアで実行されているときに、インテル ハイパースレディング モードでプロセッサ リソースの効率性を向上させることができます。 デフォルト : ON

表 12. システム セットアップユーティリティのオプション — 電源管理メニュー

電源管理	
Wake on AC ( ウェイクオン AC )	PC に AC 電源が供給されている場合に、PC の電源をオンにして起動できるようにします。 デフォルト : OFF
Wake on Dell USB-C ドック	Dell USB-C ドックを接続して、PC をスタンバイからウェイクさせることができます。 デフォルト : ON
自動電源オン時刻	指定された日付と時刻に PC の電源を自動的にオンにすることができます。 デフォルト : Disabled ( 無効 ) システムは自動的に電源オンになりません。
ブロック スリープ	PC がオペレーティング システムでスリープ ( S3 ) モードに入るのをブロックします。 デフォルト : OFF



表 12. システム セットアップユーティリティのオプション — 電源管理メニュー ( 続き )

電源管理

① **メモ:** 有効にした場合、PC はスリープにはならず、インテル Rapid Start は自動的に無効になり、オペレーティングシステムの電源オプションは、スリープに設定されていた場合は空白になります。

バッテリーの充電設定	電力使用時間中に、バッテリーで PC を動作させることができます。以下のオプションを使用して、各日の特定の時間帯での AC 電源の使用を防止します。 デフォルト : Adaptive ( 適応 ) バッテリーの設定は、標準のバッテリー使用パターンに基づいて、順応的に最適化されます。
高度なバッテリー充電設定を有効にする	その日の始まりから指定した作業時間までの高度なバッテリー充電設定を有効にします。高度なバッテリー充電では、日中の頻繁な使用をサポートしつつバッテリーの正常性を最大限にします。 デフォルト : OFF
ピーク シフト	ピーク電力消費時間中に、PC をバッテリーで動作させることができます。 デフォルト : OFF
ワイヤレス通信の制御	
Control WLAN radio ( WLAN 無線の制御 )	有線ネットワークへの PC の接続を検出し、その後、選択したワイヤレス無線 ( WLAN および/または WWAN ) を無効化できます。有線ネットワークが切断されると、選択したワイヤレス無線が再度有効になります。 デフォルト : OFF
Wake on LAN	PC が特別な LAN 信号によって電源がオンになることを有効または無効にします。 デフォルト : Disabled
インテル Speed Shift テクノロジー	Intel Speed Shift テクノロジーのサポートを有効または無効にします。このオプションを有効に設定すると、オペレーティングシステムが適切なプロセッサパフォーマンスを自動的に選択できるようになります。 デフォルト : ON
Lid スイッチ	
Lid オープン パワー オン機能	蓋を開けるたびに、PC の電源をオフ状態からオンにすることができます。 デフォルト : ON

表 13. システム セットアップユーティリティのオプション — ワイヤレスメニュー

ワイヤレス	
ワイヤレス デバイスを有効にする	内蔵 WLAN/Bluetooth デバイスを有効または無効にします。 デフォルトでは、[ WLAN ] が選択されています。 デフォルトでは、[ Bluetooth ] が選択されています。

表 14. システム セットアップユーティリティのオプション — POST 動作メニュー

POST 動作

有効な Numlock	
Enable Numlock ( Numlock を有効にする )	PC の起動時に Numlock を有効または無効にします。 デフォルト : ON
Fn Lock	Fn Lock モードを有効または無効にします。 デフォルト : ON

表 14. システム セットアップユーティリティのオプション — POST 動作メニュー ( 続き )

POST 動作

ロック モード	デフォルト : Lock Mode Secondary. [ ロック モード セカンダリ ] = このオプションが選択されている場合は、F1~F12 キーを使用して、セカンダリ機能のコードをスキャンします。
警告とエラー	起動中に警告またはエラーが発生した場合の処置を選択します。 デフォルト : Prompt on Warnings and Errors. 警告やエラーを検知した場合は、停止してプロンプトを表示し、ユーザー入力を待ちます。 <b>① メモ: PC ハードウェアの動作にとって重要であると判断されたエラーは、常に PC を停止します。</b>
Enable Adapter Warnings ( アダプターの警告を有効にする )	電源容量が少なすぎるアダプターが検出された場合に、アダプターの警告メッセージを PC に表示させる機能を有効または無効にします。 デフォルト : ON
ドック警告メッセージの有効化	ドック警告メッセージを有効または無効にします。 デフォルト : ON
ファストブート	UEFI 起動プロセスの速度を設定します。 デフォルト : Thorough ( 完全 ) 起動中にハードウェアおよび設定の完全な初期化を行います。
BIOS POST 時間の延長	BIOS POST ( 電源投入時の自己テスト ) のロード時間を設定します。 デフォルト : 0 seconds
フル スクリーン ロゴ	イメージが画面の解像度に一致する場合、PC が全画面のロゴを表示する機能を有効または無効にします。 デフォルト : OFF
マウス/タッチパッド	PC によるマウスとタッチパッド入力の処理を定義します。 デフォルト : タッチパッドおよび PS/2 マウス。外付けの PS/2 のマウスがある場合は、統合タッチパッドを有効のままにしておきます。
<b>サイン オブ ライフ</b>	
Early Logo Display	ディスプレイ ロゴのサイン オブ ライフ デフォルト : ON
Early Keyboard Backlight	キーボード バックライトのサイン オブ ライフ デフォルト : ON
<b>MAC Address Pass- Through</b>	外付 NIC の MAC アドレス ( サポートされているドックまたはドングルのも ) が PC から選択された MAC アドレスに置き換えられます。 デフォルト : System Unique MAC Address

表 15. システム セットアップ オプション — 仮想化メニュー

<b>仮想化</b>	
インテル バーチャライゼーション テクノロジ	PC が仮想マシン モニター ( VMM ) を実行できるようにします。 デフォルト : ON
Direct I/O 用 VT	PC がダイレクト I/O の仮想化テクノロジー ( VT-d ) を実行できるようにします。VT-d は、メモリー マップ I/O の仮想化を実現するインテルの方法です。 デフォルト : ON

表 16. システム セットアップユーティリティのオプション — メンテナンスメニュー

メンテナンス	
<b>Asset Tag</b>	
Asset Tag	It 管理者が使用できるシステム Asset Tag を作成し、特定のシステムを一意に識別します。BIOS で設定が完了すると、Asset Tag を変更することはできません。
サービス タグ	PC のサービス タグを表示します
ハード ドライブからの BIOS リカバリー	起動ブロック部分が損傷を受けておらず、機能している限り、PC が不良な BIOS のイメージから回復できるようにします。 デフォルト：ON <b>① メモ:</b> BIOS リカバリーは、主要な BIOS ブロックを修正するように設計されており、起動ブロックが破損している場合は機能しません。さらに、この機能は、EC の破損、ME の破損、またはハードウェアの問題が発生した場合には機能しません。リカバリーイメージは、ドライブ上の暗号化されていないパーティションに存在している必要があります。
BIOS 自動リカバリー	PC がユーザーの操作なしで自動的に BIOS をリカバリーできるようにします。この機能を使用するには、ハード ドライブからの BIOS リカバリーが有効に設定されている必要があります。 デフォルト：OFF
データ消去の開始	<b>△ 注意:</b> このセキュア消去操作は、情報を再構築できないように削除します。 有効な場合、BIOS は、次の再起動時に、マザーボードに接続されているストレージ デバイスのデータ消去サイクルをキューイングします。 デフォルト：OFF
Allow BIOS Downgrade ( BIOS のダウングレードを許可する )	システム ファームウェアの以前のリビジョンへのフラッシングを制御します。 デフォルト：ON

表 17. システム セットアップユーティリティのオプション — システムログメニュー

システムログ	
<b>電源イベント ログ</b>	
電源イベント ログをクリアする	電源に関するイベントの保持またはクリアを選択します。 デフォルト：Keep
<b>BIOS イベント ログ</b>	
BIOS イベント ログをクリアする	BIOS に関するイベントの保持またはクリアを選択します。 デフォルト：Keep
<b>温度イベント ログ</b>	
温度イベント ログをクリアする	温度に関するイベントの保持またはクリアを選択します。 デフォルト：Keep

表 18. システム セットアップ オプション — SupportAssist メニュー


SupportAssist	
<b>Dell Auto OS Recovery Threshold</b>	SupportAssist システム解決策コンソールや Dell オペレーティング システム リカバリー ツールの自動起動フローを制御します。 デフォルト：2
<b>SupportAssist OS リカバリー</b>	特定のシステム エラーの発生時に、SupportAssist オペレーティング システム リカバリー ツールの起動フローを有効または無効にします。

表 18. システム セットアップ オプション — SupportAssist メニュー ( 続き )


SupportAssist	
	デフォルト : ON
<b>BIOSConnect</b>	主要オペレーティングシステムが起動に失敗し、その失敗回数が Auto OS Recovery Threshold セットアップ オプションで指定した値以上である場合に、クラウドサービスの OS リカバリー実行を有効または無効にします。 デフォルト : ON

## CMOS 設定のクリア

このタスクについて

 **注意:** CMOS 設定をクリアすると、PC の BIOS 設定がリセットされます。


手順

1. PC の電源を切ります。
2. ベース カバーを取り外します。  
 **メモ:** バッテリーをシステム ボードから外す必要があります。「ベース カバーの取り外し」の手順 3 を参照してください。
3. 待機電力を逃がすため、電源ボタンを 15 秒間押し続けます。
4. PC の電源を入れる前に、「ベース カバーの取り付け」の手順に従います。
5. PC の電源を入れます。

## BIOS ( システム セットアップ ) パスワードとシステム パスワードのクリア

このタスクについて

システムまたは BIOS パスワードをクリアするには、Dell テクニカル サポート ( [www.dell.com/contactdell](http://www.dell.com/contactdell) ) にお問い合わせください。

 **メモ:** Windows またはアプリケーションのパスワードをリセットする方法については、Windows またはお使いのアプリケーションに付属のマニュアルを参照してください。

## トラブルシューティング

### SupportAssist 診断

#### このタスクについて

SupportAssist 診断（以前は ePSA 診断と呼ばれていた）では、ハードウェアの完全なチェックを実行します。SupportAssist 診断は BIOS に組み込まれており、BIOS によって内部で起動します。SupportAssist 診断では、特定のデバイスまたはデバイス グループ用の一連のオプションが用意されています。これにより、次の処理が可能です。

- ・ テストを自動的に、または対話モードで実行する。
- ・ テストの繰り返し
- ・ テスト結果の表示または保存
- ・ 詳細なテストで追加のテスト オプションを実行し、障害の発生したデバイスに関する詳しい情報を得る
- ・ テストが問題なく終了したかどうかを知らせるステータス メッセージを表示
- ・ テスト中に問題が発生したかどうかを知らせるエラー メッセージを表示

**メモ:** 一部のテストは特定のデバイス向けであり、ユーザーによる操作が必要です。診断テストを実行する際は、PC の前にいるようにしてください

### ビルトイン自己テスト (BIST)

#### このタスクについて

BIST には3つの異なるタイプがあり、ディスプレイ、母線、システム ボードのパフォーマンスをチェックします。これらのテストは、LCD またはシステム ボードの交換が必要かどうかを評価するうえで重要です。

1. M-BIST : M-BIST は、システム ボード ビルトイン自己テスト診断ツールで、システム ボード内蔵コントローラ (EC) 障害の診断精度を向上させます。M-BIST は POST 前に手動で開始する必要があり、故障したシステムでも実行できます。
2. L-BIST : L-BIST は、単一の LED エラー コード診断の拡張機能で、POST 中に自動的に開始されます。
3. LCD-BIST : LCD BIST は、レガシー システムで起動前システム アセスメント (PSA) を介して導入される拡張診断テストです。

表 19. 機能

	M-BIST	L-BIST
目的	システム ボードの正常性の状態を評価します。	LCD 母線テストを実行して、システム ボードが LCD に電力を供給しているかどうかをチェックします。
トリガ	<M>キーと電源ボタンを押します。	単一 LED エラー コードの診断に統合されています。POST 中に自動的に開始されます。
障害インジケータ	バッテリー LED ライトが <b>橙色</b> に点灯	バッテリー LED エラー コード [2,8] が、オレンジ色で 2 回点滅し、一時停止してから白色で 8 回点滅
修復手順	システム ボードに問題があることを示します。	システム ボードに問題があることを示します。

## システムボードビルトイン自己テスト (M-BIST)

このタスクについて



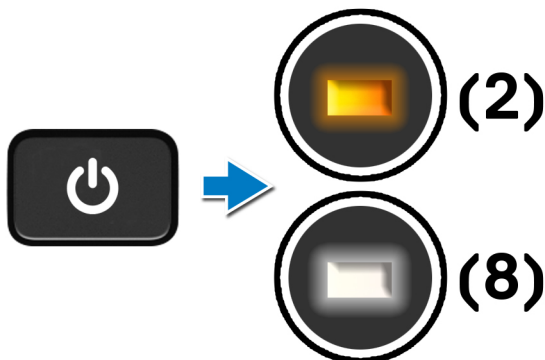
### 手順

1. M キーと電源ボタンの両方を長押しして、M-BIST を起動します。
2. バッテリ ステータス ライトは、システム ボードに障害が発生した場合、オレンジ色に点灯します。
3. 問題を解決するには、システム ボードを交換します。

**i** **メモ:** バッテリ ステータス LED は、システム ボードに障害がない場合、点灯しません。さらにトラブルシューティングを  
実行する必要がある場合は、No Power/No POST などについて該当する **Guided Resolution** (ガイド付きサポート) を利  
用してください。

## モニターパネル母線のビルトイン自己テスト (L-BIST)

このタスクについて

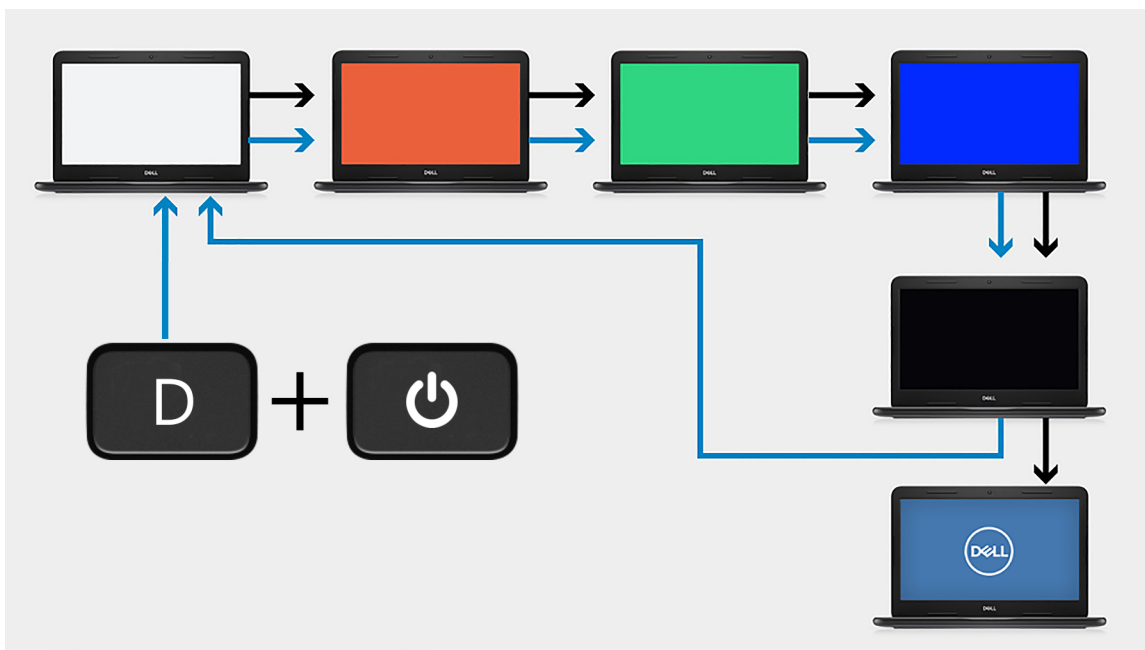


### 次の手順

**L-BIST** (LCD 母線テスト) は、単一の LED エラーコード診断の拡張機能で、**POST** 中に自動的に開始されます。L-BIST は、LCD がシステム ボードから電力を受信していれば分離します。L-BIST は、LCD 母線テストを実行して、システム ボードが LCD に電力を供給しているかどうかをチェックします。LCD に電力が供給されていない場合、バッテリ ステータス LED が点滅して **[2, 8]** LED エラーコードを表示します。

# モニター パネルのビルトイン自己テスト (LCD-BIST)

このタスクについて



## 手順

1. D キーを押したまま、電源ボタンを押します。
2. PC の POST が開始されたら、D キーと電源ボタンの両方を解放します。
3. モニター パネルに単色が表示されたり、異なる色が順に表示されます。  
**①** **メモ:** 色の順序は、モニター パネルのベンダーによって異なることがありますが、これはユーザーが色のゆがみやグラフィックの異常がなく、正しく表示されていることを確認するためのものです。
4. 最後の単色が表示されると、PC が再起動します。

## 結果

このタスクについて

次の表は、さまざまなタイプの BIST を実行した結果を示しています。

表 20. BIST の結果

M-BIST	
消灯	システム ボードに障害が検出されませんでした。
橙色に点灯	システム ボードに問題があることを示します。

表 20. BIST の結果

L-BIST	
消灯	システム ボードに障害が検出されませんでした。
LED エラー コード [2, 8] が、オレンジ色で 2 回点滅し、一時停止してから白色で 8 回点滅	システム ボードに問題があることを示します。

表 20. BIST の結果

LCD-BIST
白、赤、緑、青色で点滅する LCD は、ディスプレイが正常に動作しており、LCD パネルに障害がないことを示します。

## システム診断ライト

### バッテリーステータスライト

電源およびバッテリー充電ステータスを示します。

ソリッド ホワイト：電源アダプターが接続され、バッテリーの充電量は 5% 以上です。

橙色 — コンピュータがバッテリーで動作しており、バッテリーの充電量は 5% 未満です。

### 消灯

- ・ 電源アダプターが接続されバッテリーがフル充電されています。
- ・ PC がバッテリーで動作しており、バッテリーの充電量が 5% 以上です。
- ・ PC がスリープ状態、休止状態、または電源オフです。

電源およびバッテリーステータスライトが障害を示すビープコードと合わせて橙色に点滅します。

例えば、電源およびバッテリーステータスライトが、橙色に 2 回点滅して停止し、次に白色に 3 回点滅して停止します。この 2,3 のパターンは、PC の電源が切れるまで続き、メモリーまたは RAM が検出されないことを示しています。

次の表には、さまざまな電源およびバッテリーステータスライトのパターンと関連する問題が記載されています。

表 21. LED コード

診断ライト コード	問題の内容
1,1	TPM 検出エラー
1,2	SPI フラッシュ障害
1,5	i-Fuse エラー
1,6	EC 内部エラー
2,1	プロセッサの不具合
2,2	システム ボード：BIOS または ROM (読み取り専用メモリー) の障害です
2,3	メモリーまたは RAM (ランダム アクセス メモリー) が検出されません
2,4	メモリーまたは RAM (ランダム アクセス メモリー) の障害です
2,5	無効なメモリーが取り付けられています
2,6	システム ボードまたはチップセットのエラーです
2,7	ディスプレイの障害です
2,8	ディスプレイ障害：母線の障害
3,1	コイン型電池の障害です
3,2	PCI、ビデオ カード/チップの障害です
3,3	リカバリーイメージが見つかりません
3,4	検出されたリカバリー イメージは無効です
3,5	母線の障害です
3,6	システム BIOS のフラッシュが不完全です
3,7	マネジメント・エンジン (ME) エラー

カメラステータスライト：カメラが使用されているかどうかを示します。

- ・ ソリッド ホワイト：カメラが使用中です。



- ・ 消灯 — カメラは使用されていません。

キャップスロックステータスライト：キャップスロックが有効か、それとも無効かを示します。

- ・ ソリッド ホワイト：キャップスロックが有効です。
- ・ 消灯 — キャップスロックが無効です。

## オペレーティング システムのリカバリー

PC で何度か試行してもオペレーティング システムが起動されない場合、Dell SupportAssist の OS のリカバリーが自動的に起動します。

Dell SupportAssist の OS のリカバリーは、Windows 10 オペレーティング システムがインストールされているすべての Dell PC にはプレインストールされているスタンドアロン ツールです。PC でオペレーティング システムが起動される前に発生する問題を診断してトラブルシューティングするツールで構成されています。ハードウェアの問題の診断、PC の修復、ファイルのバックアップ、PC の出荷時状態への復元を行うことができます。

ソフトウェアやハードウェアの障害が原因でプライマリ オペレーティング システムを起動できない場合、Dell サポート用 Web サイトからダウンロードし、PC をトラブルシューティングして修正できます。

Dell SupportAssist の OS のリカバリーの詳細については、[www.dell.com/support](http://www.dell.com/support) にある「Dell SupportAssist OS Recovery ユーザーズ ガイド」を参照してください。


## BIOS のフラッシュ

### このタスクについて

更新がある場合やシステム基板を取り付けるときに BIOS のフラッシュ (更新) を行う必要があります。

次の手順に従って、BIOS のフラッシュを行います。

### 手順

1. コンピュータの電源を入れます。
2. [www.dell.com/support](http://www.dell.com/support) にアクセスします。
3. **Product Support (製品サポート)** をクリックし、お使いのコンピュータのサービスタグを入力して、**Submit (送信)** をクリックします。  
 **メモ:** サービスタグがない場合は、自動検出機能を使用するか、お使いのコンピュータのモデルを手動で参照してください。
4. **Drivers & downloads (ドライバとダウンロード) > Find it myself (自分で検索)** をクリックします。
5. お使いのコンピュータにインストールされているオペレーティングシステムを選択します。
6. ページを下にスクロールして、**BIOS** を展開します。
7. **Download (ダウンロード)** をクリックして、お使いのコンピュータの BIOS の最新バージョンをダウンロードします。
8. ダウンロードが完了したら、BIOS アップデートファイルを保存したフォルダに移動します。
9. BIOS アップデートファイルのアイコンをダブルクリックし、画面に表示される指示に従います。

## BIOS のフラッシュ (USB キー)

### 手順

1. **BIOS のフラッシュ** の手順 1 から 7 に従って、最新の BIOS セットアップ プログラム ファイルをダウンロードします。
2. 起動可能な USB ドライブを作成します。詳細については、[www.dell.com/support](http://www.dell.com/support) でナレッジベース記事 [SLN143196](#) を参照してください。
3. BIOS セットアップ プログラム ファイルを起動可能な USB ドライブにコピーします。
4. 起動可能な USB ドライブを BIOS のアップデートを必要とするコンピューターに接続します。
5. コンピュータを再起動し、デルのロゴが画面に表示されたら **F12** を押します。
6. **1 回限りの起動メニュー** から USB ドライブを起動します。
7. BIOS セットアップ プログラムのファイル名を入力し、**Enter** を押します。
8. **BIOS アップデート ユーティリティ** が表示されます。画面の指示に従って、BIOS のアップデートを完了します。


# バックアップメディアとリカバリーオプション

Windows で発生する可能性がある問題のトラブルシューティングと修正のために、回復ドライブを作成することが推奨されています。デルでは、Dell PC の Windows オペレーティングシステムをリカバリするために、複数のオプションを用意しています。詳細に関しては「[デルの Windows バックアップメディアおよびリカバリオプション](#)」を参照してください。

## Wi-Fi 電源の入れ直し

### このタスクについて

お使いのコンピューターが Wi-Fi 接続の問題が原因でインターネットにアクセスできない場合は、Wi-Fi 電源の入れ直し手順を実施することができます。次に、Wi-Fi 電源の入れ直しの実施方法についての手順を示します。

 **メモ:** 一部の ISP (インターネット サービス プロバイダ) はモデム/ルータ コンボ デバイスを提供しています。

### 手順


1. コンピューターの電源を切ります。
2. モデムの電源を切ります。
3. ワイヤレス ルータの電源を切ります。
4. 30 秒待ちます。
5. ワイヤレス ルータの電源を入れます。
6. モデムの電源を入れます。
7. コンピューターの電源を入れます。

## 待機電力のリリース

### このタスクについて

待機電力とは、PC の電源をオフにし、バッテリーをシステム ボードから取り外したあとも PC に残っている静電気のことです。以下は、待機電力を放出する手順です。

### 手順



1. PC の電源を切ります。
2. [ベースカバー](#)を取り外します。  
 **メモ:** バッテリーをシステム ボードから外す必要があります (「[ベースカバーの取り外し](#)」の手順 3 を参照してください)
3. 待機電力を逃がすため、電源ボタンを 15 秒間押し続けます。
4. [ベースカバー](#)を取り付けます。
5. PC の電源を入れます。

# 「困ったときは」と「デルへのお問い合わせ」

## セルフヘルプリソース

セルフヘルプリソースを使ってデル製品とサービスに関するヘルプ情報を取得できます。

表 22. セルフヘルプリソース

セルフヘルプリソース	リソースの場所
デル製品とサービスに関する情報	<a href="http://www.dell.com">www.dell.com</a>
My Dell	
ヒント	
お問い合わせ	Windows 検索に Contact Support と入力し、Enter を押します。
オペレーティングシステムのオンライン ヘルプ	<a href="http://www.dell.com/support/windows">www.dell.com/support/windows</a> <a href="http://www.dell.com/support/linux">www.dell.com/support/linux</a>
トラブルシューティング情報、ユーザーズ ガイド、セットアップ方法、製品仕様、テクニカル サポート ブログ、ドライバー、ソフトウェアのアップデートなど。	<a href="http://www.dell.com/support">www.dell.com/support</a>
PC のさまざまな問題に関するデルのサポート技術情報の記事	<ol style="list-style-type: none"> <li><a href="http://www.dell.com/support">www.dell.com/support</a> にアクセスします。</li> <li>サポート ページの上部にあるメニュー バーで、サポート &gt; サポート 技術情報を選択します。</li> <li>[サポート技術情報] ページの検索フィールドにキーワード、トピック、モデル番号のいずれかを入力し、検索アイコンをクリックまたはタップして関連する記事を表示します。</li> </ol>
お使いの製品について、次の情報を把握します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>製品仕様</li> <li>オペレーティングシステム</li> <li>製品のセットアップと使用</li> <li>データ バックアップ</li> <li>トラブルシューティングと診断</li> <li>工場出荷時の状態とシステムの復元</li> <li>BIOS 情報</li> </ul>	<a href="http://www.dell.com/support/manuals">www.dell.com/support/manuals</a> の『Me and My Dell』を参照してください。 <p>お使いの製品に関する Me and My Dell (私とマイデル) を探すには、次のいずれかの方法で製品を特定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>Detect Product (製品を検出)</b> を選択します。</li> <li><b>View Products (製品の表示)</b> のドロップダウンメニューで製品を見つけます。</li> <li>検索バーに、サービス タグ ナンバーまたは製品 ID を入力します。</li> </ul>

## デルへのお問い合わせ

販売、テクニカル サポート、カスタマー サービスに関するデルへのお問い合わせは、[www.dell.com/contactdell](http://www.dell.com/contactdell) を参照してください。

① **メモ:** 各種サービスのご提供は国/地域や製品によって異なり、国/地域によってはご利用いただけないサービスもございます。

① **メモ:** お使いのコンピューターがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。